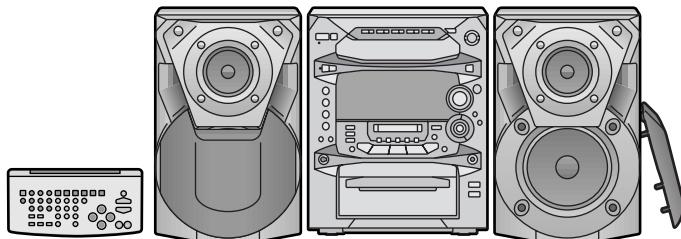


Panasonic®



MD ステレオシステム

取扱説明書

品番 SC-NS77MD



上手に使って上手に節電

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

COMPACT
DISC
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

RQT5136-S



もくじ

まず

確認と準備

安全上のご注意	4
準備をする	6
付属品の確認	6
リモコンの準備	7
付属品の接続	8
デモ機能 / 時計合わせ / 節電機能	10

すぐ

使いたいとき

MD を聞く	12
CD を聞く	14
テープを聞く	16
ラジオを聞く	18
CD を MD に録音する	20
CD をテープに録音する	22

もっと

使いこなしたいとき

MD/CD の聞きかた	24
リピートプレイ / ランダムプレイ / ダイレクトプレイ / プログラムプレイ / CD マネージャー	
放送局を記憶させて聞く	28
いろいろな録音	30
CD を MD ・ テープに同時録音 / CD や曲を指定して録音	30
ラジオを MD に録音 / ラジオをテープに録音	32
テープを MD に録音 / MD をテープに録音	34
MD を編集する	36
ディバイド / コンパイン / ムーブ / イレース	
MD にタイトルを付ける	40
音質を調整する	46
タイマーを使う	48
MD ネットワーク機能を使う (MD MD 録音)	52
屋外アンテナ、別売り機器の接続	54
別売り機器を使う	55
便利な機能	56

もし

必要なとき

MD 、 テープ 、 CD について	57-58
お手入れ / 著作権について	59
(お電話の前に一度ご確認を)	
Q & A	60
こんな表示が出たら	61
故障かな!?	62
各部のなまえ	64
保証とアフターサービス	66
主な仕様	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

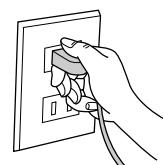
電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

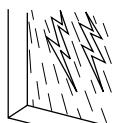


感電の原因になります。

ぬれ手禁止

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線、機器やプラグに触れない



接触禁止

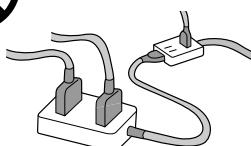
感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまるごとに、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり漏らしたりしない



ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く



電源プラグ

機器内部に金属や水、異物が入ったとき

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

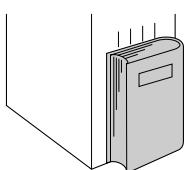
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になります。設置・工事は販売店にご相談ください。

以下のことを守り正しく設置する



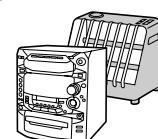
不安定な場所に置かない

上に大きなもの、重いものを載せない

スピーカーを壁や天井に取り付けない

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する



付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ご使用について

CD 握入口の奥には手を入れない



閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない



倒れたりして、けがの原因になることがあります。

特に子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。

また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う



- ⊕や⊖は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長期間使用しないときは、取り出しておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使用しない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

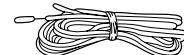
液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認



接続の前に、まず付属品を確かめてください。

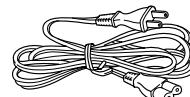
- FM 簡易型アンテナ 1 本
(品番 RSA0006-J)



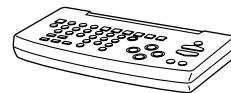
- AM ループアンテナ 1 本
(品番 RSA0029)



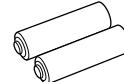
- 電源コード 1 本
(品番 RJA0059-J)



- リモコン 1 台
(品番 EUR646901)



- リモコン用単4形乾電池 2 本



電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

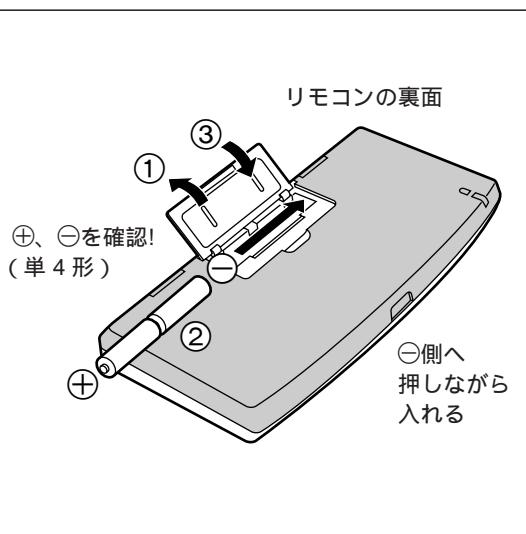
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

カッコ()内は、買い替え時の品番です。

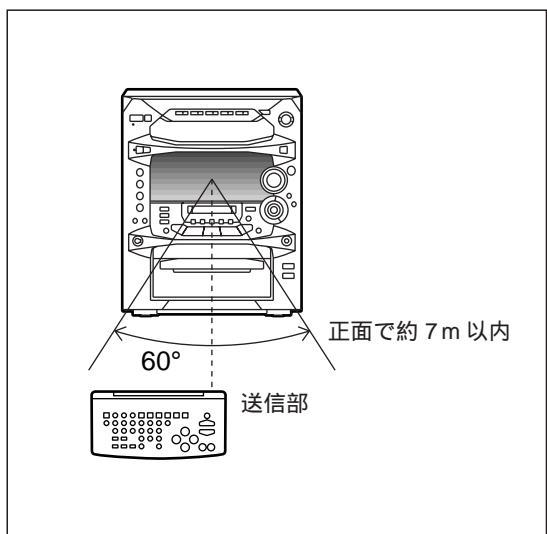
準備をする

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた



リモコンの使いかた



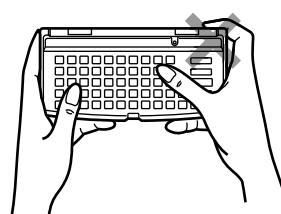
使用上のお願い

上パネル（ \Rightarrow 65 ページ）側のボタンで操作するときは、カチッと音がするまで上パネルをしっかりと閉める。

受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

受光部と送信部のほこりに注意。

送信部はふさがないで
手に持ったとき、指で送信部をふさがない。



故障防止のために
分解、改造しない。
重いものを載せない。
直射日光の当たるところに放置しない。
ジュースなど、液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

リモコンの準備
付属品の確認

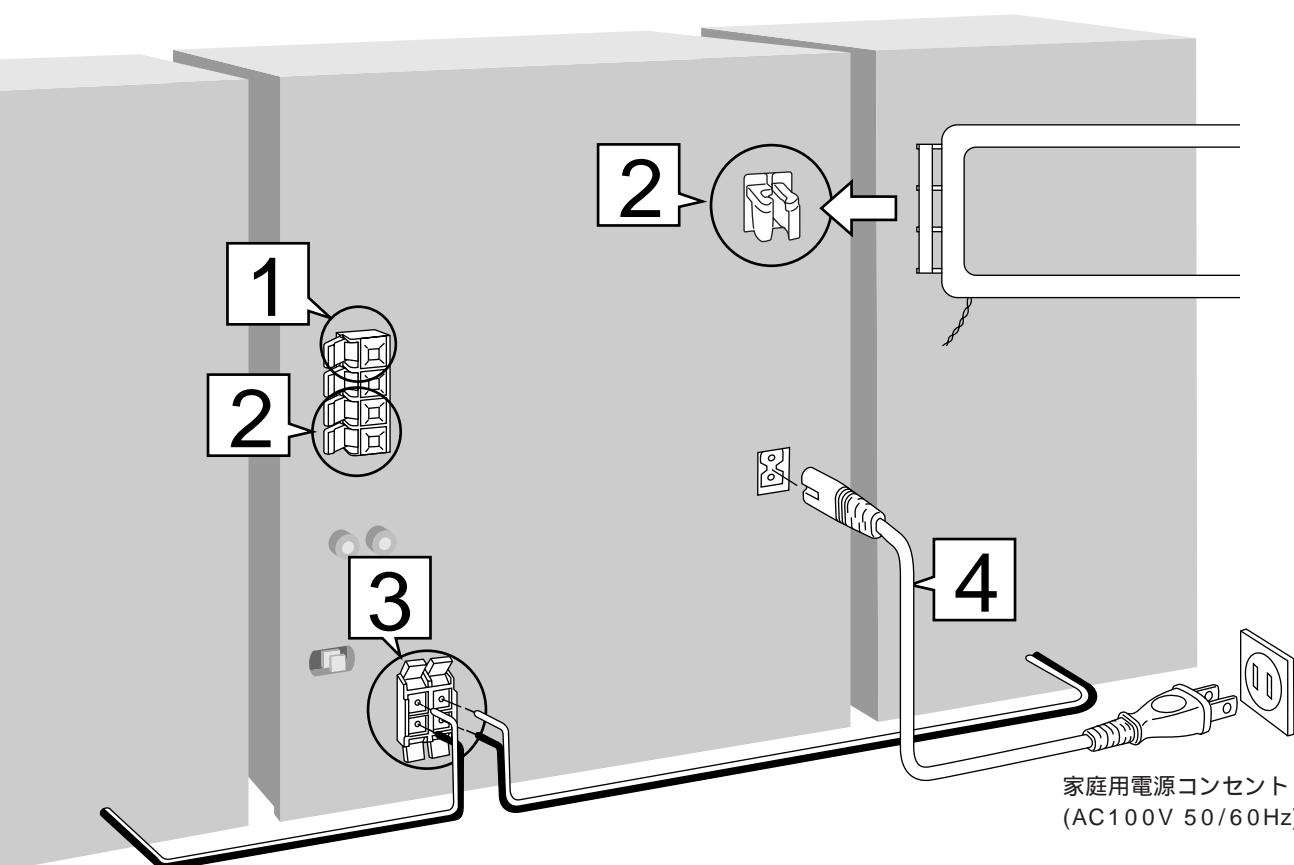
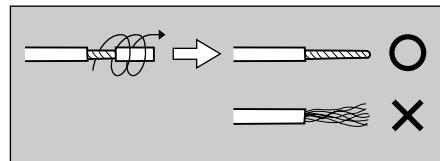
ご使用前に

付属品の接続

電源コードは最後に接続します。

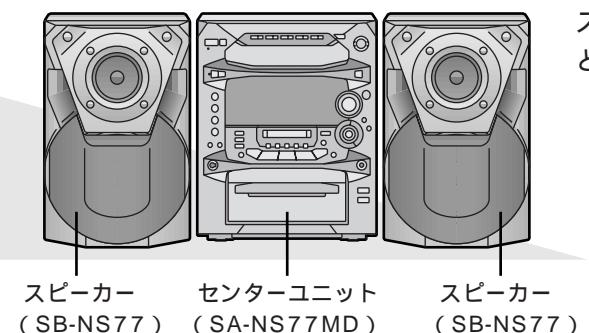
準備 :

FMアンテナ、AMアンテナ、スピーカーコードの先端の
ビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。



家庭用電源コンセント
(AC 100V 50/60Hz)

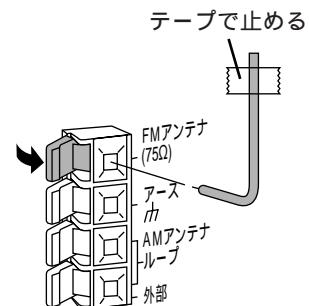
設置



スピーカーは、右・左とも、同じ形です。
どちらに置いてもかまいません。

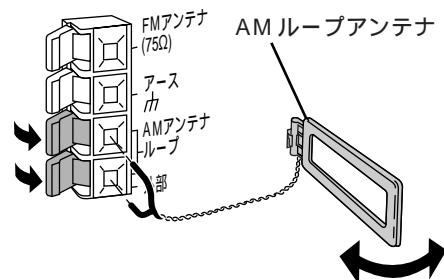
1 FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（ \bowtie 18・19 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。



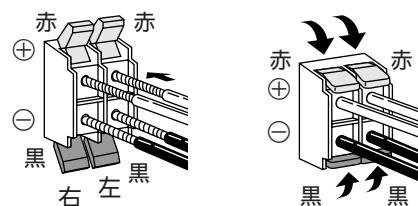
2 AM ループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（ \bowtie 18・19 ページ）雑音の少ない角度に調節します。



3 スピーカーコード

端子のレバーと、同じ色のコードをつなぎます。



お願い

付属のスピーカー以外はご使用になれません。
本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
①と②をショートさせないでください。故障の原因になります。

4 電源コード

長期間使用しないときは

節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。

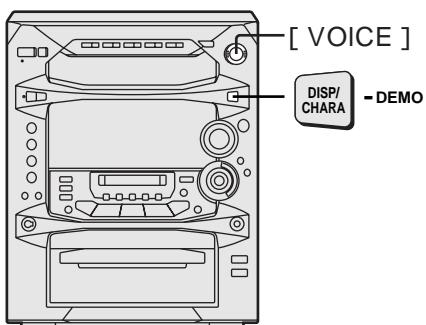
[POWER]で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

ECO モードのとき： 0.4W

NORMAL モードのとき： 2.8W

本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約 1 週間保持されます。

デモ機能を「切」にする



電源コードをつなぐと、表示が次々に変化するデモ機能が、自動的に働きます。

お買い上げ時の設定は「入」です。

節電機能を効果的に使うために、デモ機能は「切」にしておきましょう。

“NO DEMO”と表示するまで

[DISP/CHARA、-DEMO]を押し続ける
押し続けるたびに

DEMO(入) \leftrightarrow NO DEMO(切)

DEMO



NO DEMO

デモ中のボイス(音声)だけ切るには
[VOICE]をポンポンと押して、“VOICE OFF”を表示させる。

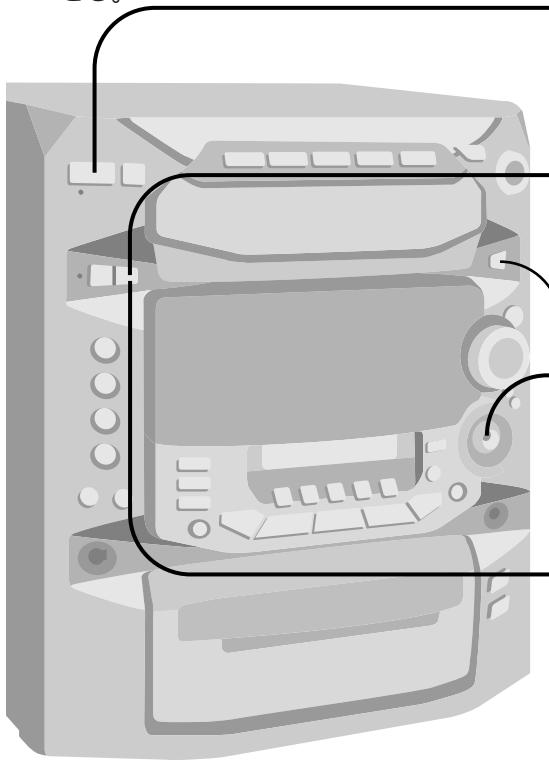
デモ機能は働きますが、ボイス(音声)は出ません。

お知らせ

本機の時計を合わせると、デモ機能は「切」になります。

時計を合わせる(24時間表示)

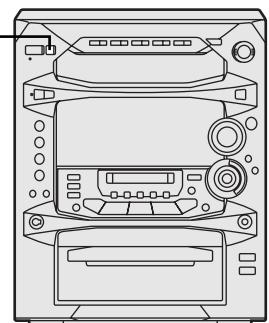
例：16時25分(午後4時25分)に合わせる。



[DISP/CHARA、-DEMO]

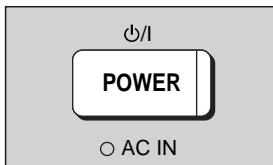
待機時の節電機能について

MODE



準備をする

1



押す

電源が入ります。

2

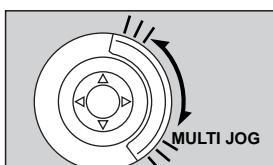


押して
“CLOCK-- : --”を選ぶ

CLOCK-- : --

押すたびに CLOCK → ○PLAY → ○REC
↑元の表示 ←

3

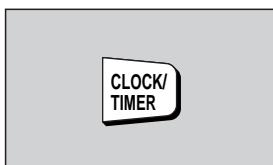


約 10 秒以内に、回して
時計を合わせる

CLOCK 16:25

元の表示に戻ったときは、手順 2
からやり直してください。

4



時報に合わせて
押す

CLOCK 16:25

時計合わせが完了し、元の表示に
戻ります。

時計を表示させるには

→ 電源「切」時

ECO モードのときは、[DISP/CHARA、- DEMO] をポンと押す。

時計を約 5 秒間表示します。

NORMAL モードのときは、常に時計表示になります。
電源「入」時

[CLOCK/TIMER] を押す。

時計を約 10 秒間表示して、元の表示に戻ります。

ご使用前に

デモ機能 / 時計合わせ / 節電機能

電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。

お買い上げ時の設定は「ECO」です。

モード	ECO	NORMAL
表示パネル	全消灯 (AC IN ランプのみ点灯)	時計表示など
待機時の消費電力	0.4W	2.8W

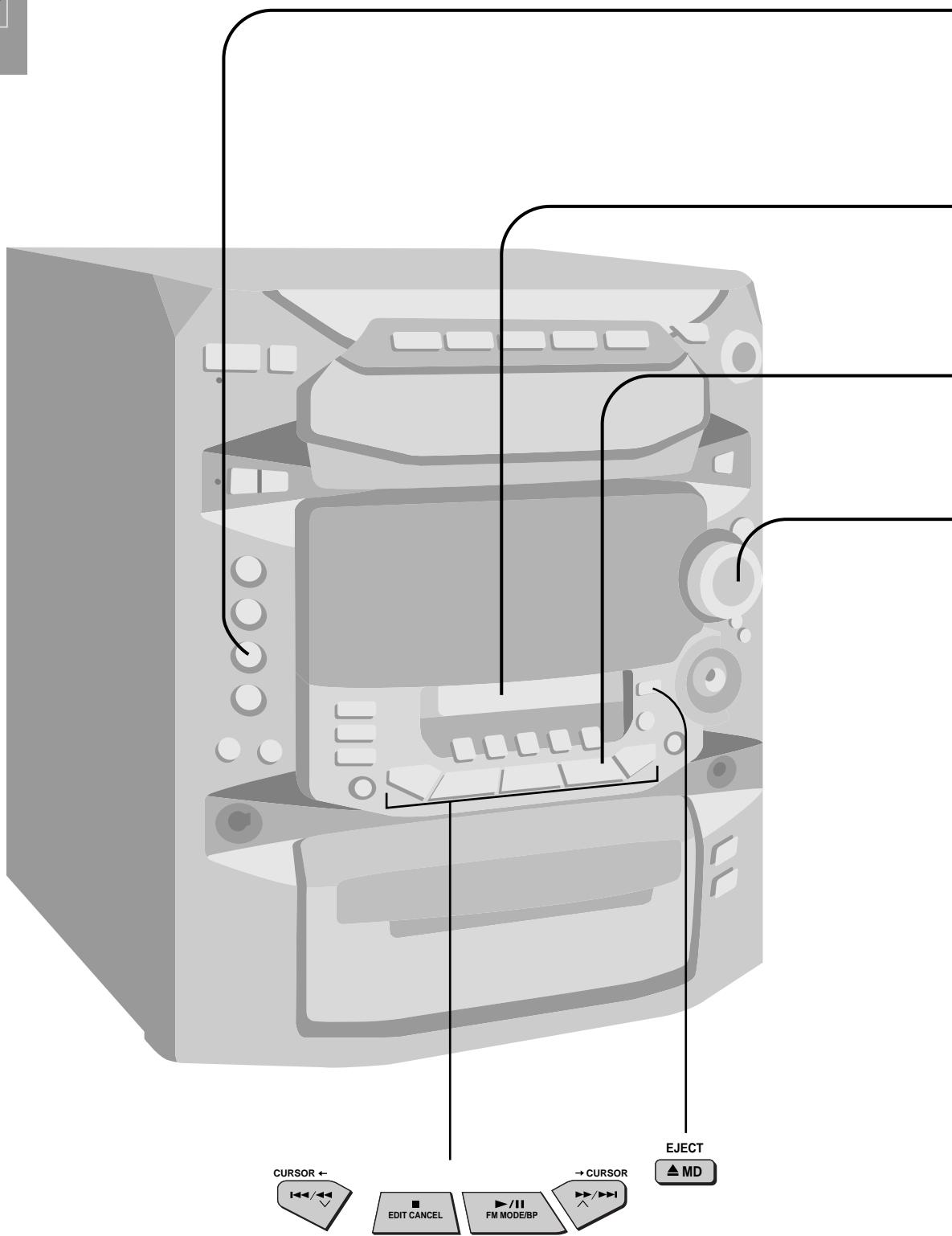
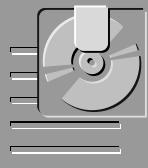
節電機能の切り換えかた

電源を入れ、[MODE]を押す
現在のモードを表示します。

モード表示中にもう一度押すと、NORMAL/
ECO が切り換わります。

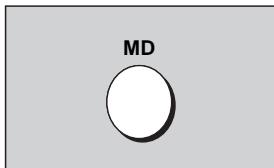
お知らせ

電源「切」時でも、NORMAL → ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。



MDを聞く

1



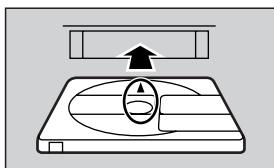
押す

自動的に電源も入り、MDに切り換わります。
すでにMDが入っているときは、演奏も始まります。(ワンタッチプレイ)

NO DISC

ディスクが入っていないことを表示

2

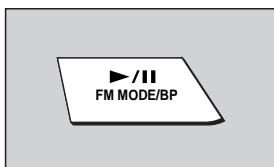


録音済みMDを入れる

曲数・総演奏時間またはディスクタイトルが表示されます。

曲数
17 70:34
総演奏時間

3

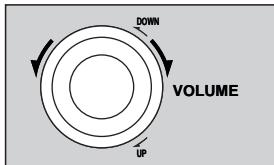


押す

1曲目から最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。
SP:演奏中の曲がステレオ
LP:演奏中の曲がモノラル

演奏中の曲番
1 0:01 SP
演奏経過時間

4



回して
音量を調節する

VOL -48dB

途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す

(再開するには、もう一度押す)

曲を前後にとび越すには



ポンと押す



([MULTI JOG]でも可能)

タイトルサーチもできます

あらかじめ、各曲にタイトルを付けておけば、ポンポンと押して、タイトルで曲を探すこともできます。

早送り・早戻しするには



演奏(または一時停止)中に、押し続ける

MDを取り出すには



EJECT
▲MD

押す

(電源「切」時に押すと、電源が入る)

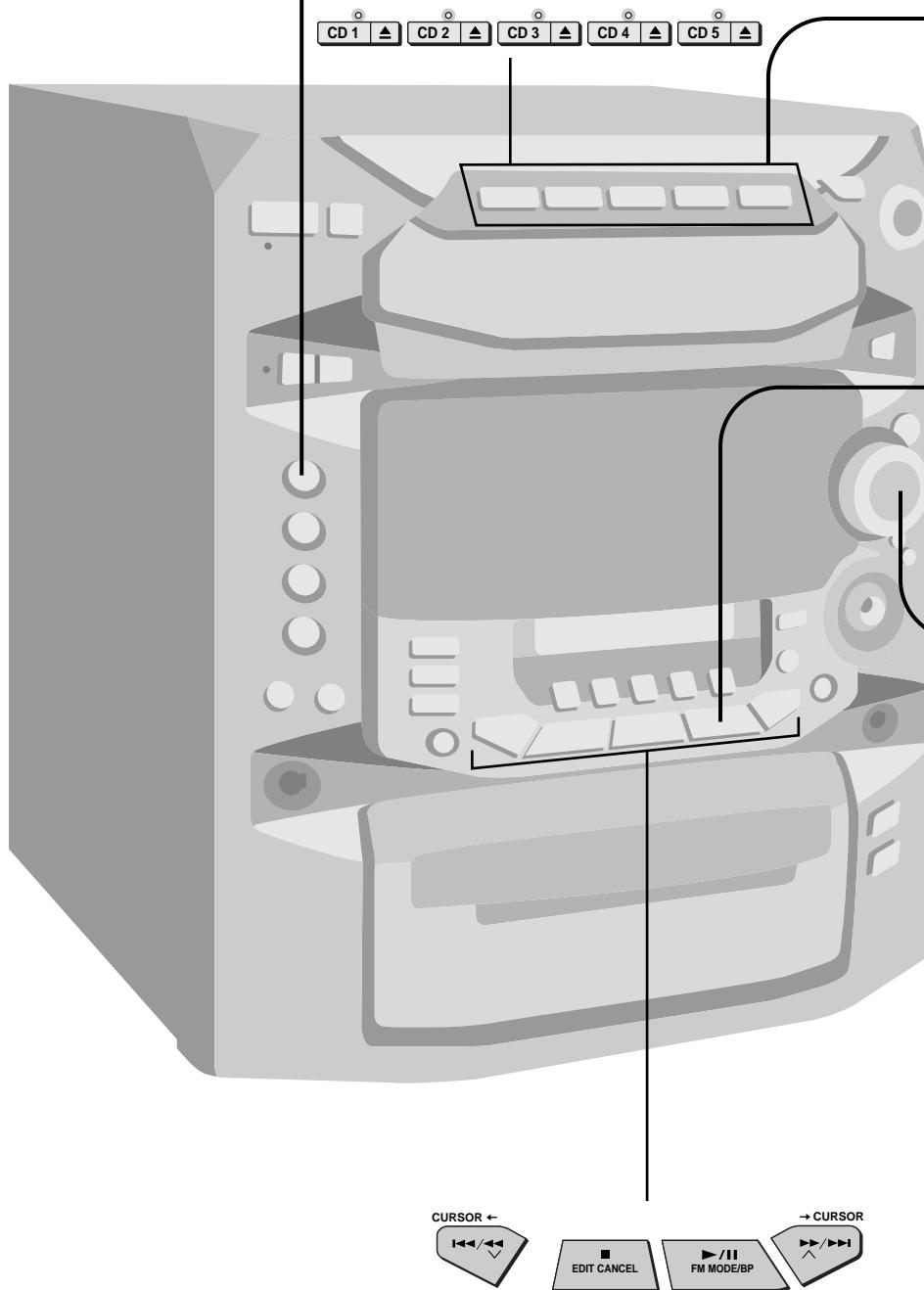
使いかた

“>”と表示したら
使用中のMDに17曲以上入っていることを示しています。

“LOAD ERROR”と表示したら
MDを入れる途中で不具合が発生したため、自動的に電源が切れます。
電源を入れ、MDをまっすぐ入れ直してください。

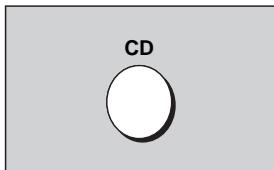


[CD1] ~ [CD5] ランプについて
CD の有無に関係なく、演奏待機位置
にあるトレイを示します。



CDを聞く

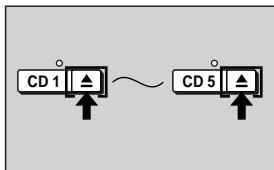
1



押す

自動的に電源も入り、CDに切り換わります。
すでにCDが入っているときは、演奏も始まります。(ワンタッチプレイ)

2



いずれかを押してトレイを開け
CDを入れる
閉めるには、同じボタンをもう一度押す。



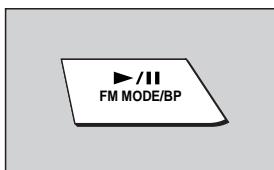
ディスクが入っていないことを表示

ラベル面を上に



曲数 総演奏時間
17 64:34
CD 1 >
CD 番号

3

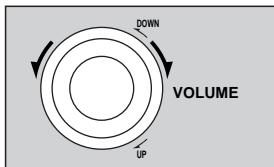


押す

1曲目から最終ディスクの最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。
([CD1] ~ [CD5]で、ディスクを選んで聞くことも可能)

演奏中の曲番
1 0:01
CD 1
演奏経過時間

4



回して
音量を調節する

VOL -48dB

使いかた

途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す

(再開するには、もう一度押す)

曲を前後にとび越すには



ポンと押す



([MULTI JOG]でも可能)

早送り・早戻しするには



演奏(または一時停止)中に、押し続ける

CDを取り出すには

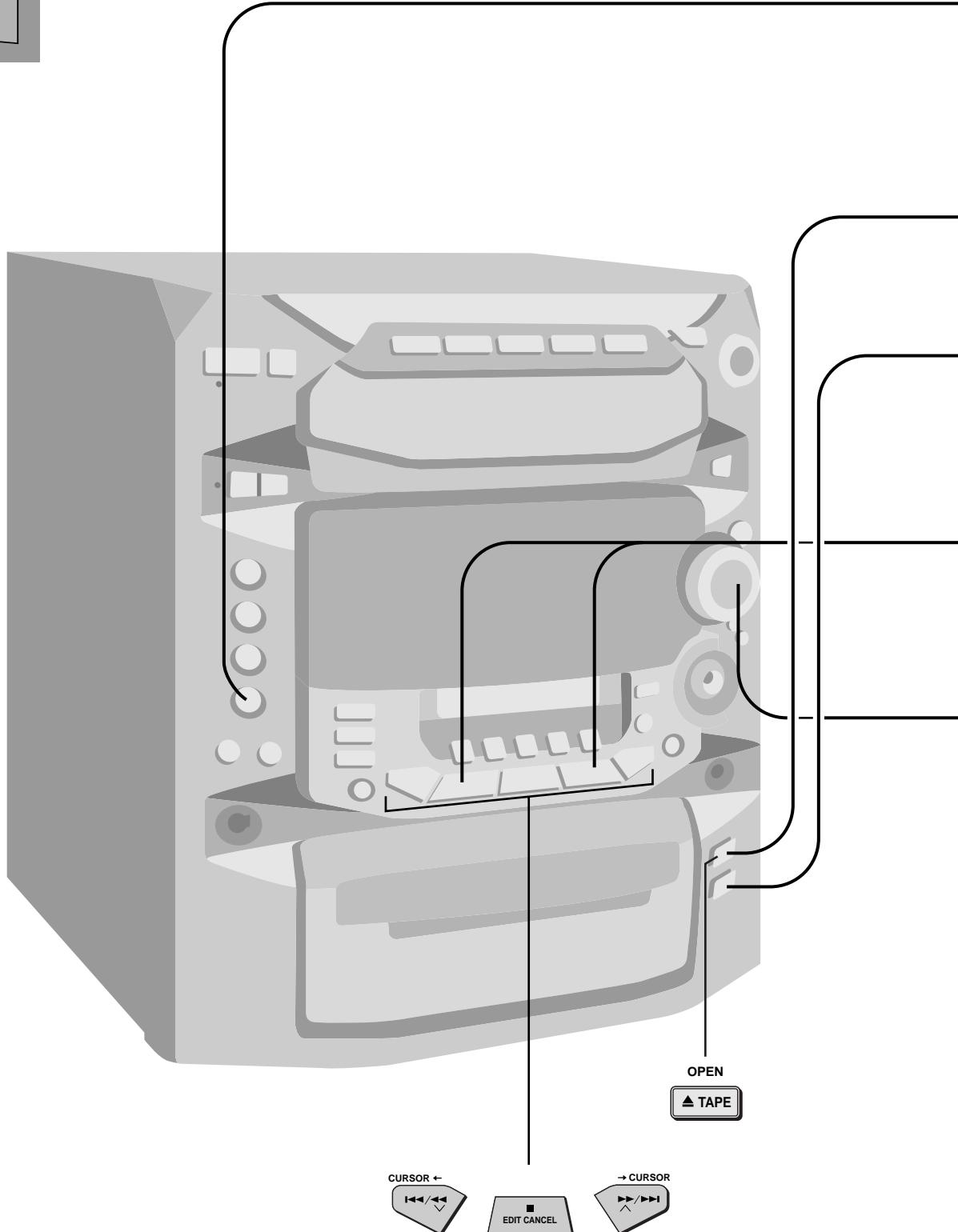


押す

(電源「切」時に押すと、電源が入る)

“>”と表示したら
使用中のCDに17曲以上入っていることを示しています。

「CDメカの故障防止のために」も併せてお読みください。(⇒ 59ページ)



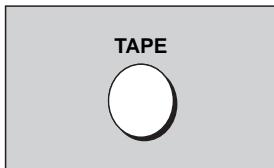
演奏できるテープは?

ノーマル ポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイ ポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタル ポジション METAL POSITION/TYPE	

テープの種類は自動的に判別されます。

テープを聞く

1



押す

自動的に電源も入り、テープに切り換わります。
すでにテープが入っているときは、演奏も始まります。(ワンタッチプレイ)

NO TAPE

テープが入っていないことを表示

2



押してホルダーを開け

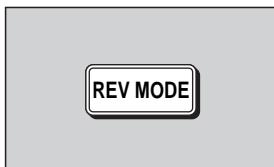
テープを入れる

手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面“▷”になります。



テープの見える側を下向きに

3



押して

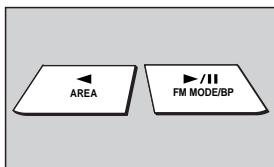
リバースモードを選ぶ

エ：片面だけ演奏して自動停止
エ：おもて面 裏面を演奏して自動停止
エ：両面を8回演奏して自動停止

TAPE □ □

押すたびにエ→エ→エ

4



いずれかを押す

▶/II：おもて面から

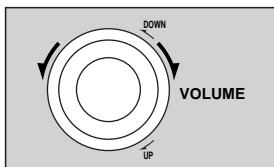
◀：裏面から

演奏が始まり、テープ終端で自動停止します。

TAPE ▶ □ □

(例：おもて面)

5



回して
音量を調節する

VOL -48dB

使いかた

途中で止めるには



押す

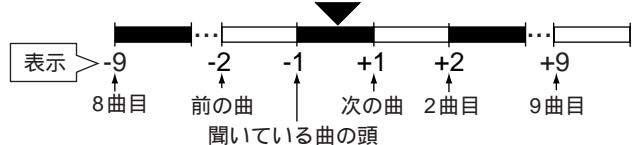
曲を前後にとび越すには
(TPS機能)



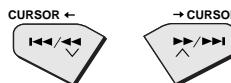
演奏中に、ポンポンと押す

次方向9曲、前方向8曲までとび越し可能

演奏位置



早送り・早戻しするには



停止中に、押す

テープを取り出すには



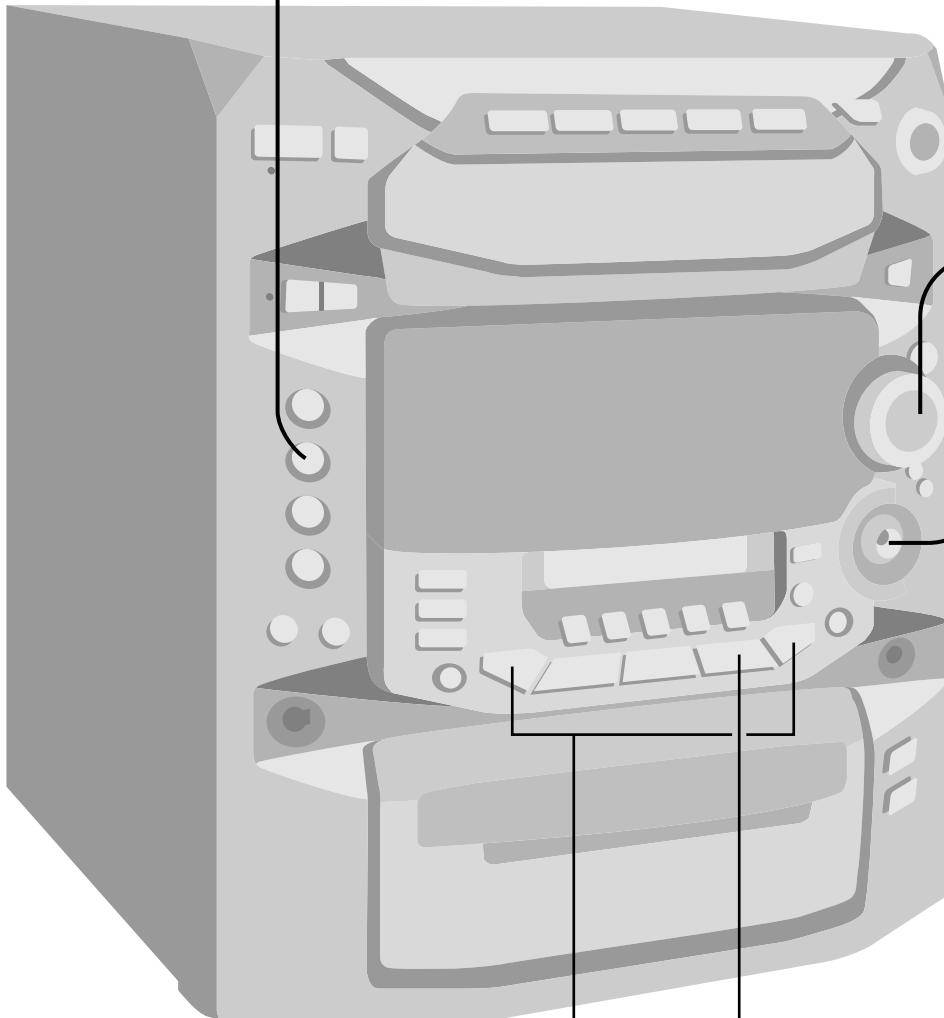
押す

(電源「切」時に押すと、電源が入る)

お知らせ

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

曲間が短い / 曲間に雑音がある / 曲中に無音に近い部分がある



CURSOR ←

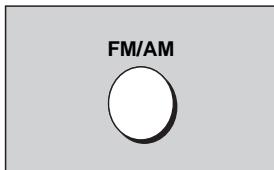


→ CURSOR



ラジオを聞く

— 1

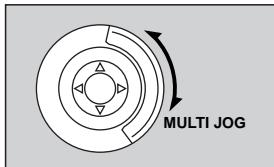


押して
“ FM ” または “ AM ”
を選ぶ
(TV 音声受信時は “ FM ”)
自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
(ワンタッチプレイ)

FM 76.0MHz

押すたびに FM ⇄ AM

— 2



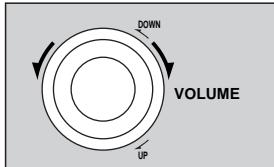
回して
周波数を合わせる

FM 82.5MHz

TUNED ST

ST : FM ステレオ放送を受信すると点灯
TUNED : 正確に受信すると点灯

— 3



回して
音量を調節する

VOL -48dB

自動選局するには
(オートチューニング)



押し続け、周波数が動き始めたら
指を離す

(最初に受信した放送局で停止)

FM ステレオ放送で
雑音が多いときは



押す

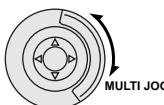
“ MONO ” と表示します。

FM 82.5MHz

TUNED MONO

押すたびに
MONO (強制モノラル) ⇄ 消灯 (自動判別)
通常は “ 消灯 ” にしておきます。

TV 音声 1 ~ 3ch を
聞くには



回して、選局する

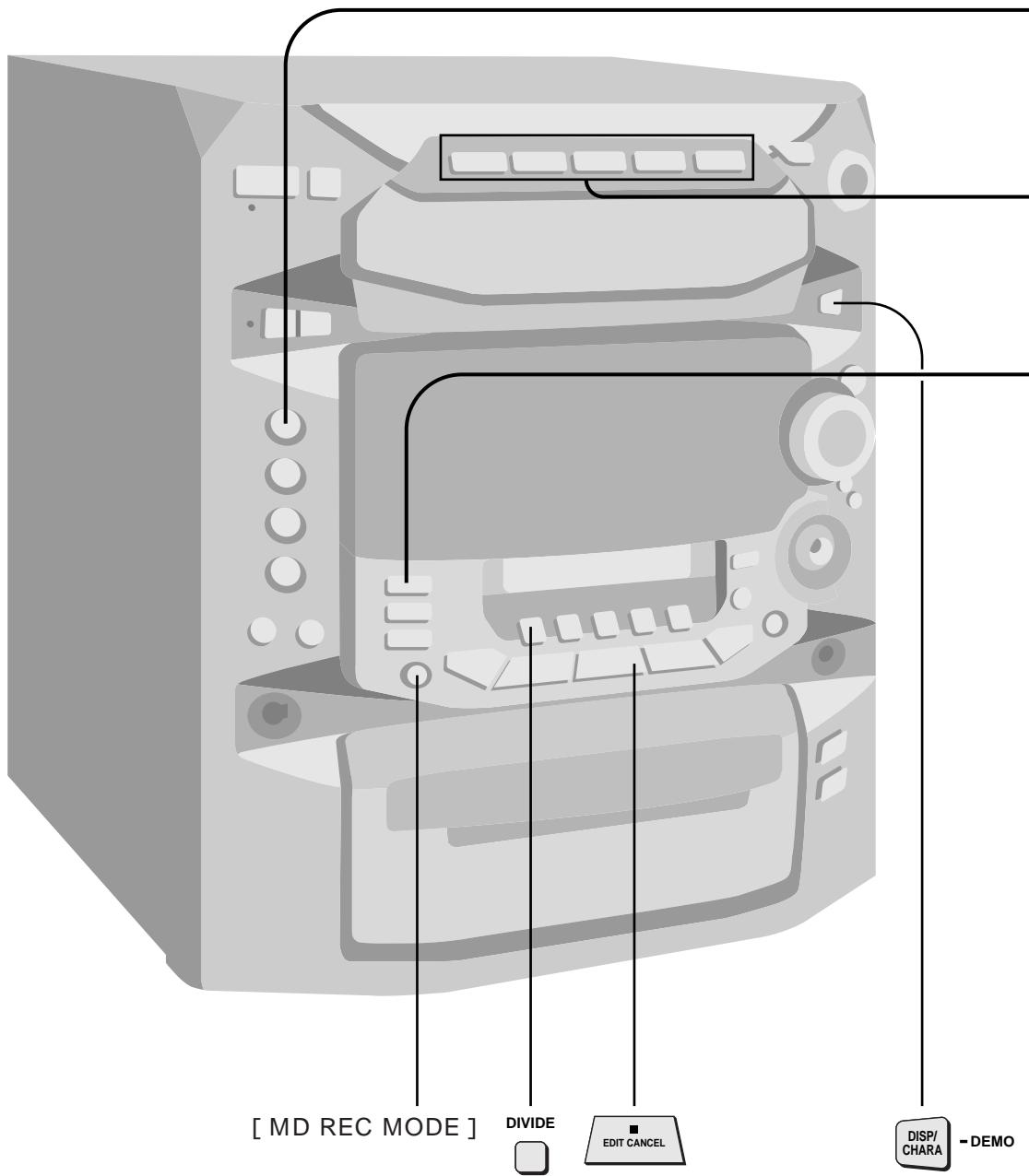
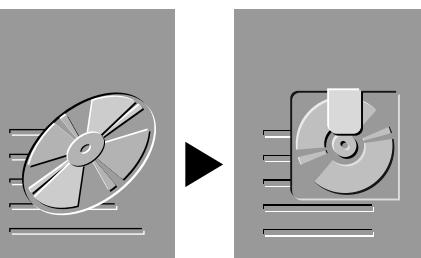
FM 76.0MHz --- 90.0MHz

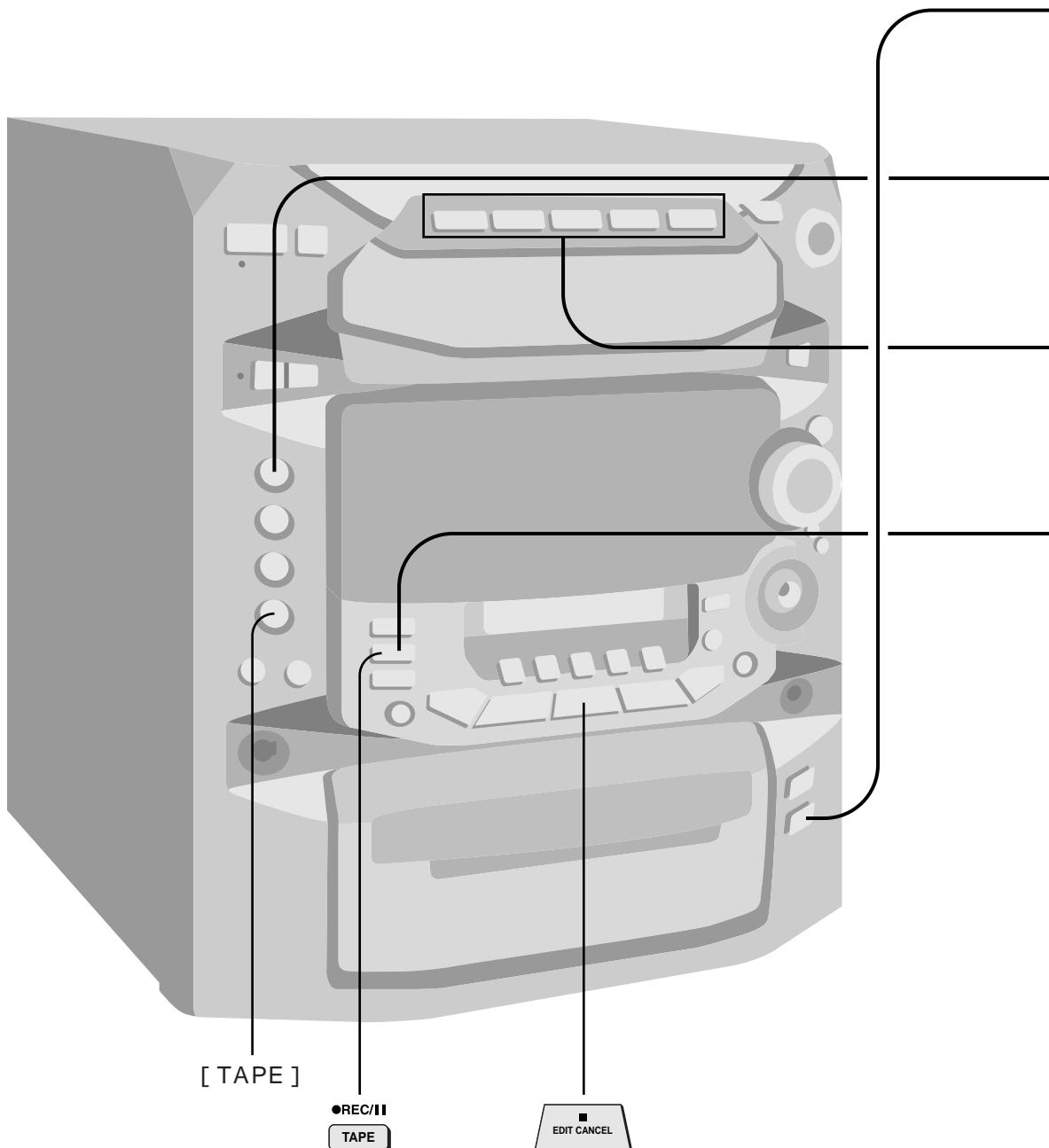
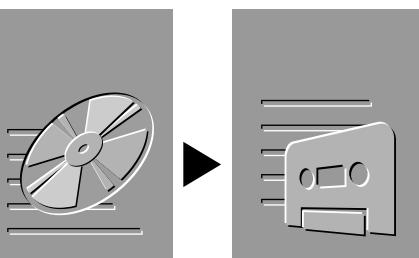
TV3ch TV2ch TV1ch

使いたい

お知らせ

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。(⇨ 54 ページ)
オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
AM 放送受信中にテープを出し入れすると、音が少し途切れます。





録音できるテープは?

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタルポジション METAL POSITION/TYPE	×

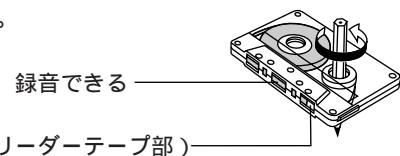
テープの種類は自動的に判別されます。
メタルポジション・テープを使うと、本機では
正しく録音・消去できません。

CDをテープに録音する

使いかた

準備：リーダーテープ部を巻きとり、録音用テープを入れる。

自動的におもて面“▷”から録音されます。



— 1



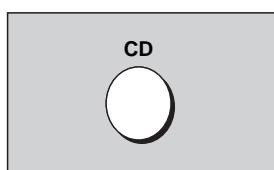
押して
リバースモードを選ぶ

□：片面だけ録音して自動停止
□、□□：おもて面 裏面を録音して自動停止



押すたびに □ → □□ → □□□

— 2

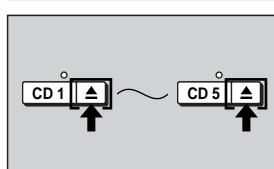


押す

CDに切り換わります。



— 3



いずれかを押してトレイを開け

CDを入れる

閉めるには、同じボタンをもう一度押す。

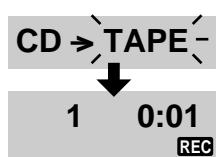
12 55:16

— 4



押す

1曲目から録音が始まります。
(CDの演奏が終わると、テープも自動停止)



途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す (REC が点滅)

CDは演奏を続け、テープは録音待機状態になります。
(再開するには、もう一度押す)

気に入った曲をすぐ録音するには

(CD一曲追っかけ録音)

CD演奏中に、[REC/II、TAPE] を押す。

曲の始めに戻って演奏し、1曲の録音が終わると
テープは自動停止します。

(追っかけ録音は、CDマネージャーが“ALL DISC”
のときのみ可能です。26・27ページ)

数枚のCDから曲を選んで録音するには

①好みの曲をプログラム予約する。

(26・27ページ)

②[REC/II、TAPE] を押す。

選んだ曲だけ録音して自動停止します。

テープの裏面に録音するには

テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向
を切り換え、録音します。

①[TAPE] を押す。

②[□] (裏面) を押し、すぐ [□] を押して、テー
プ走行方向を“▷”にする。

③上記録音操作を行う。

演奏を くり返す

リモコンのみ
(リピートプレイ)

次の 2 種類があ
ります。
1 曲リピート
全曲リピート
(CD は、入れて
いる全ディスク
が対象)

MD または CD

押して
MD または CD に切り
換える

順不同に 聞く

リモコンのみ
(ランダムプレイ)

CD のときだけ、
次の 2 種類があ
ります。
1 ディスク・ラ
ンダム
全ディスク・ラ
ンダム

MD または CD

押して
MD または CD に切り
換える

好みの曲 から聞く

リモコンのみ
(ダイレクトプレイ)

選んだ曲から最
終曲まで順に演
奏します。

MD または CD

押して
MD または CD に切り
換える

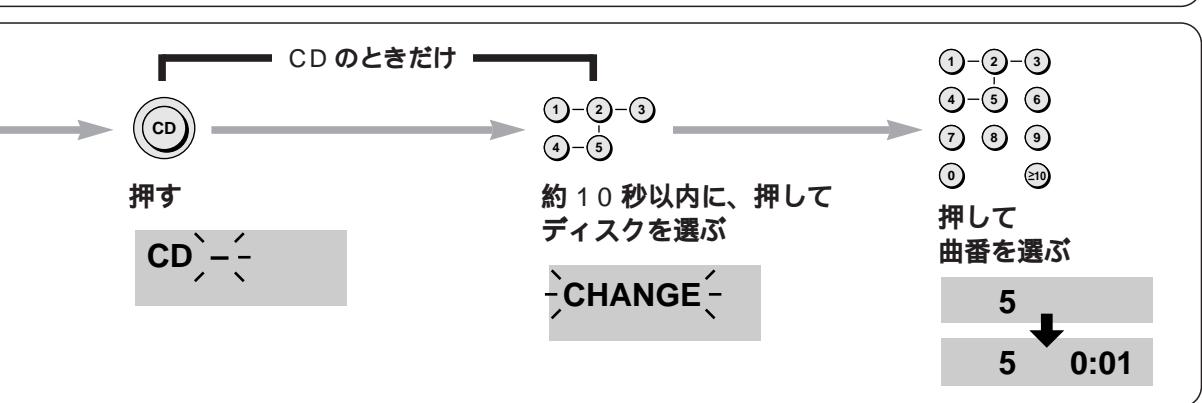
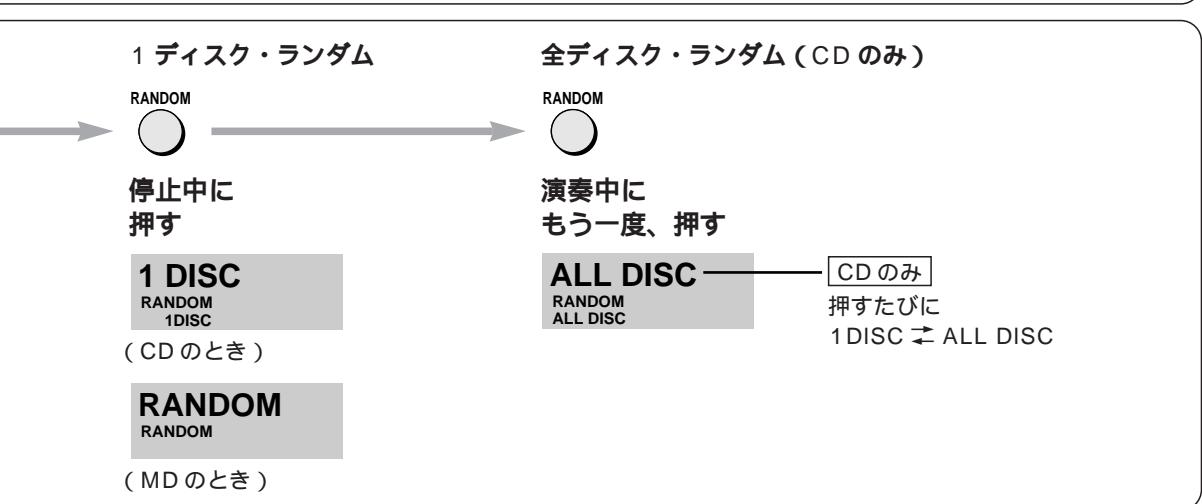
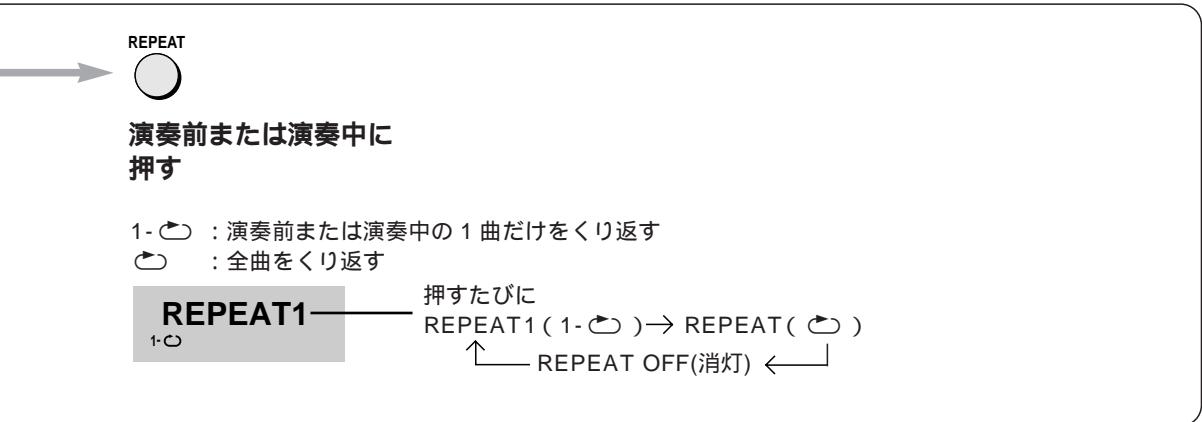
リピートプレイのとき

- 解除するには
[REPEAT] を押して、“ REPEAT OFF ” を選ぶ。
数曲をくり返すには
① 好みの曲をプログラム予約する。
(⇨ 26・27 ページ)
② 演奏前または演奏中に、[REPEAT] を押して
“ REPEAT(▷) ” を選ぶ。

ランダムプレイのとき

- 解除するには
[] を押す。
お知らせ
ランダムプレイ中は、[◀◀/◀◀] を押しても、前
の曲に戻りません。
ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中
でだけ早送り・早戻しします。

使いかた



ダイレクトプレイのとき

25

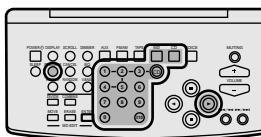
MD、CD の聞きかた

好みの曲 を予約順 に聞く

リモコンのみ

(プログラムプレイ)

最大 24 曲まで
予約できます。



MD または CD
押して
MD または CD に切り
換える

①-②-③
④-⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩

押して
曲番を選ぶ

CD 専用の聞きかた

CD や曲 を指定し て聞く

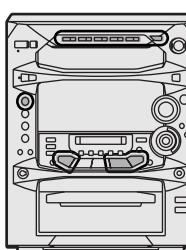
(CD マネージャー)

次の 3 種類があ
ります。

1 曲ねらい録
り & 演奏
(1-1 DISC)
入れている CD
から、1 曲だけ
を指定。

まる録り & 演奏
(1 DISC)
入れている CD
から、1 枚だけ
を指定。

連続 1 曲ねら
い録り & 演奏
(1-ALL DISC)
入れている CD
の同じ曲番だけ
を指定。



CD
押す

CURSOR ←
CURSOR →

押して
曲番を指定する
1 DISC のとき：操作は不要です。

6
CD 3

プログラムプレイのとき

解除するには

停止中に [PROGRAM] を押して " PRGM " を消す。
(予約内容は保持されます)

同じ予約内容で演奏するには

[PROGRAM] で解除したときは、以下の操作で同じ
演奏ができます。

- ① [PROGRAM] を押す。
- ② [▶] を押す。

数字ボタンで 10 以上を選ぶには (⇨ 25 ページ)
" PRGM FULL " と表示したら

予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ
以上の予約はできません。

予約状態 (" PRGM " 表示中) は次の操作がで
きます

予約の確認

停止中に [◀◀/◀◀] または [▶▶/▶▶] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。
本体の [◀◀/◀◀][▶▶/▶▶] または [MULTI JOG]
でも確認できます。

予約の追加

MD のとき：停止中に曲番の追加予約
CD のとき：停止中にディスクと曲番の追加予約

MD / CD の聞きかた

使いかた

CD プログラム マネージャー



CD マネージャーのとき

- 予約の取り消し
- 曲を指定して取り消し (リモコンのみ)
 - 停止中に [CANCEL] を押す。
 - 取り消し曲の指定する。
 - [CANCEL] を押す。
 - 全曲取り消し
 - [] を押す。
 - " CLEAR " と表示して、予約状態も解除されます。

お知らせ

CD のプログラムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

- 途中で止めるには
- [] を押す。
- 演奏が終わると
- 自動的に ALL DISC (通常) モードに戻ります。

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。

FM、AMとも、12局ずつ記憶させられます。

お住まいの地域を指定する

(エリアバンク)

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な放送局を記憶させられます。

好みの局だけ記憶させる

(マニュアルメモリー)

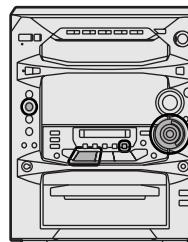
たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させたりして使います。

記憶させる

記憶させた放送局を聞く

(プリセットチューニング)

聞く

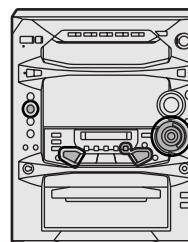


FM/AM

押す

FM 76.0MHz

FM、AMのどちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。



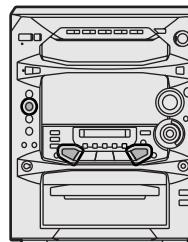
FM/AM

押して

“FM”または“AM”を選ぶ
(TV音声受信時は“FM”)

FM 76.1MHz

押すたびに FM ⇄ AM



FM/AM

押して

“FM”または“AM”を選ぶ

FM 76.1MHz

押すたびに FM ⇄ AM

マニュアルメモリーのとき

リモコンでもできます。

- 放送局を受信後、[PROGRAM]を押す。
- 数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。
選んだチャンネルに放送局が記憶されます。

プリセットチューニングのとき

リモコンでもできます。

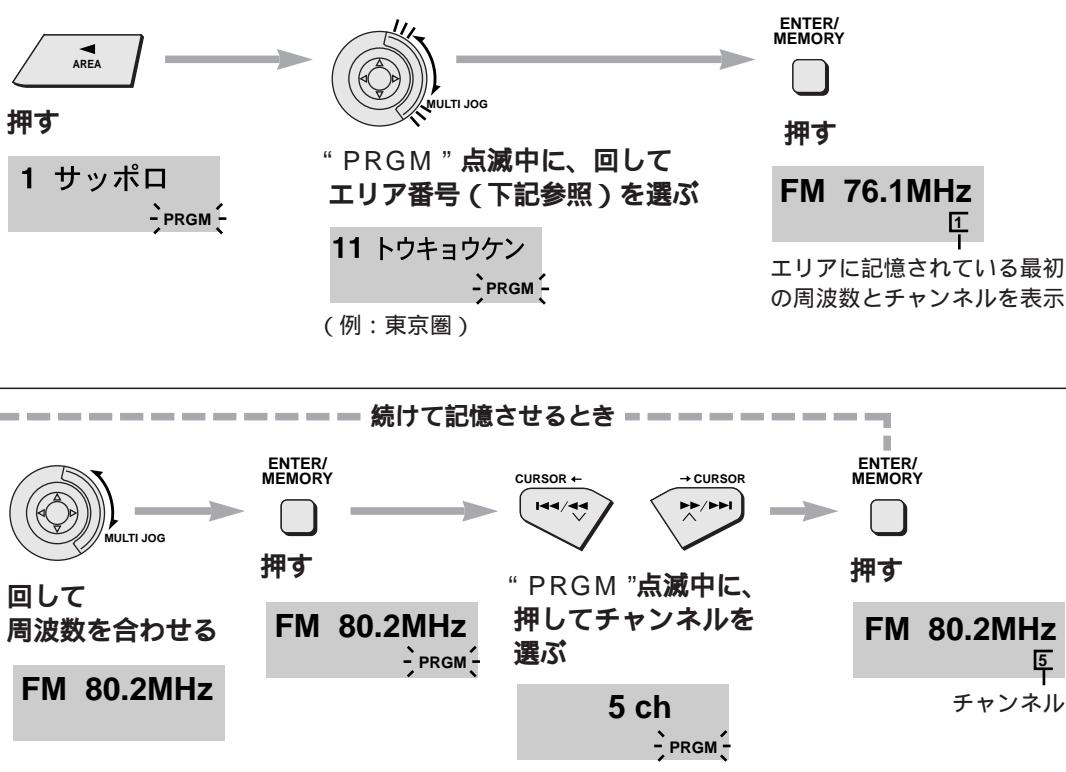
- [FM/AM]を押して、“FM”または“AM”を選ぶ。
- 数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。
自動的に放送局名表示になります。

数字ボタンで 10 以上を選ぶには

[≥ 10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。

例：チャンネル 12 のとき [≥ 10] [1] [2]

放送局を記憶させて聞く



使いかた

エリアバンク（1999年1月現在）

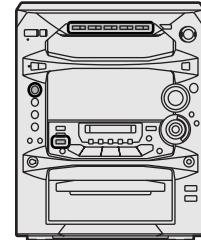
エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏	21	大津	31	松山
2	青森		(東京、横浜、 千葉、浦和)	22	奈良	32	高知
3	秋田			23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	12	甲府	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	13	松本		(大阪、神戸、京都)	35	佐賀
6	仙台	14	静岡	25	鳥取	36	長崎
7	福島	15	名古屋圏	26	松江	37	大分
8	宇都宮		(名古屋、岐阜)	27	広島	38	熊本
9	水戸	16		28	山口	39	宮崎
10	前橋	17	新潟	29	高松・岡山	40	鹿児島
		18	富山	30	徳島	41	那覇
		19	金沢				
		20	福井				

CDを MD・ テープに 同時録音 する

お知らせ

テープおもて面 裏面に切り換わるとき、録音が少しひぎれます。

- 準備：① 録音用 MD を入れる。
MD 以外のモードで、
[MD REC MODE] を
押し続け、録音モード
を選ぶ。
- ② 録音用テープを入れ、
リバースモードを選ぶ。
自動的におもて面 “▷”
から録音されます。



CD
押す

CDに切り換わ
ります。

NO DISC
1

CDや 曲を指定 して録音 する

(CDマネージャー)

次の3種類があります。

1曲ねらい録り&演奏
(1-1DISC)

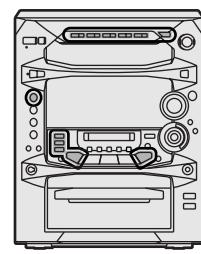
入れているCDから、1曲だけを
指定。

まる録り&演奏 (1DISC)
入れているCDから、1枚だけを
指定。

連続1曲ねらい録り&演奏
(1-ALL DISC)
入れているCDの同じ曲番だけを
指定。

MD、テープ、あるいはMDと
テープ同時に録音できます。
テープ録音時のみ、おもて面終
端でとぎれた曲は、裏面に最初
からもう一度録音します。

- 準備：① 録音用 MD を入れる。
MD 以外のモードで、
[MD REC MODE] を
押し続け、録音モード
を選ぶ。
- ② 録音用テープを入れ、
リバースモードを選ぶ。
自動的におもて面 “▷”
から録音されます。
- ③ CDを入れる。



CD
押す

12 55:16

途中で止めるには

[]を押す。

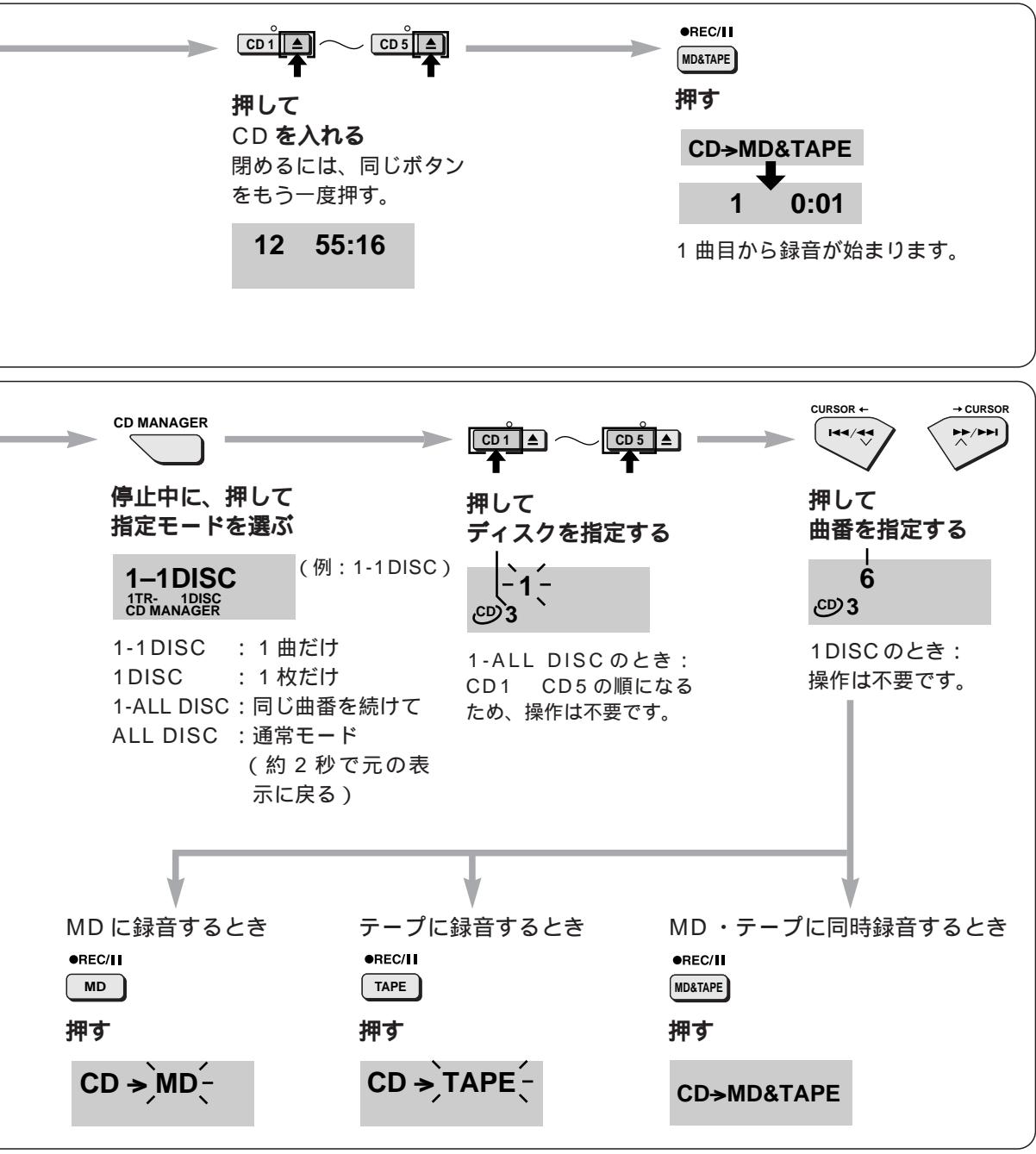
MDは、“UTOC Write”の点滅後、録音が完了します。

録音中のMDにトラックマークを付けるには

[DIVIDE]を押す。

いろいろな録音

CDや曲を指定して録音
をMD・テープに同時録音

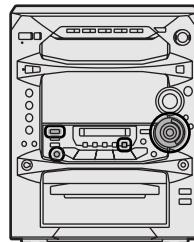


MDの残り時間を知るには
[DISP/CHARA]をポンポンと押して、残り時間表示にする。

ラジオを MD に 録音する

準備 :

- ① 録音用 MD を入れる。
- ② 録音したい放送を受信する。
- ③ [MD REC MODE] を押し続け、録音モードを選ぶ。
SP MODE : 通常録音モード
LP MODE : 長時間・モノラル録音モード(74分ディスクで148分録音可能)



MD REC MODE



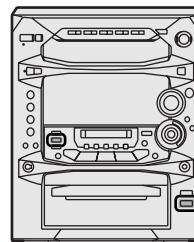
ポンと押す

「MANU」

ラジオを テープに 録音する

準備 :

- ① 録音用テープを入れる。
自動的におもて面“▷”から録音されます。
(裏面に録音するときは ⇨ 23ページ)
- ② 録音したい放送を受信する。



REV MODE

押して
リバースモードを選ぶ

⇨ : 片面だけ録音して自動停止
⇨、⇨⇨ : おもて面 裏面
を録音して自動停止
停止

FM 82.5MHz



押すたびに ⇨ → ⇨ → ⇨⇨
↑

“⇨⇨”は、録音を始めると、
自動的に“⇨⇨”に切り換わります。

ラジオを MD に録音するとき

途中で止めるには

[] を押す。

“UTOC Write”の点滅後、録音が完了します。

一時停止するには

[REC/■、MD] を押す。

(再開するには、もう一度押す)

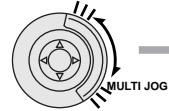
トラックマークを付けるには

[DIVIDE] を押す。

MD の残り時間を知るには

[DISP/CHARA] をポンポンと押して、残り時間表示にする。

いろいろな録音



約 10 秒以内に、回して
録音モードを選ぶ

マニュアル
MANU : 通常の録音

TURN BACK : 頭切れを防ぐため数
秒前の音から録音

TIME MARK : 5 分ごとに自動でト
ラックマークが付く

TURN/TIME : TURN BACK と
TIME MARK の組み
合わせ

TURN BACK

(例: TURN BACK)

ENTER/
MEMORY



押す

FM 82.5MHz LP

●REC/II

MD

押す

82.5>MD

REC

TURN BACK と
TURN/TIME 選択
時のみ

TURN BACK

STANDBY

●REC/II

MD

押す

82.5>MD

REC

●REC/II
TAPE

押す

82.5>TAPE

REC

MD への録音モードについて

本機には、長時間録音モードのほかに、次の 5 種類の録音モードが
あります。目的や好みに応じて使い分けてください。
(選択できるモードは、ソースによって異なります)

マニュアル
MANU : 通常の録音モードです。

シンクロ
SYNC : 本機につないだ機器の演奏が始まると、自動的に録音も始
まるモードです。録音開始位置に、自動的にトラックマー
クが付きます。

TURN BACK : 頭切れを防ぐために、数秒前の音から録音するモ
ードです。ラジオや CS/BS 放送を録音するとき使
います。

TIME MARK : 5 分毎に、トラックマークが自動的に付くモード
です。ラジオやテープから録音するとき使います。

TURN/TIME : TURN BACK と TIME MARK の組み合わせモー
ドです。ラジオなどから録音するとき使います。

使いかた

ラジオを
テープに
録音する

ラジオをテープに録音するとき

途中で止めるには

[] を押す。

一時停止するには

[REC/II、TAPE] を押す。

(再開するには、もう一度押す)

AM 放送録音中に雑音が多いときは

(BP : ビートブルーフ)

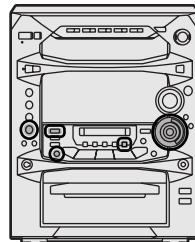
録音中に、[▶/II、FM MODE/BP] を押す。

押すたびに “BP1” ⇄ “BP2”

雑音の少ないほうにします。

テープを MDに 録音する

準備：
① 録音用 MD を入れる。
② テープを入れる。
テープ走行方向は、自動的におもて面“▷”になります。
③ MD 以外のモードで、[MD REC MODE] を押し続け、録音モードを選ぶ。

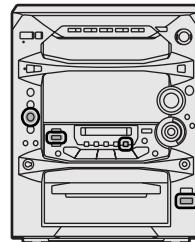


TAPE
押す

TAPE □□

MDを テープに 録音する

準備：
① 録音用テープを入れる。
自動的におもて面“▷”から録音されます。
(裏面に録音するときは ⇨ 23 ページ)
② MDを入れる。



MD
押す

12 54:34

テープを MD に録音するとき

途中で止めるには

[] を押す。

“UTOC Write” の点滅後、録音が完了します。

一時停止するには

[REC/■、MD] を押す。

(再開するには、もう一度押す)

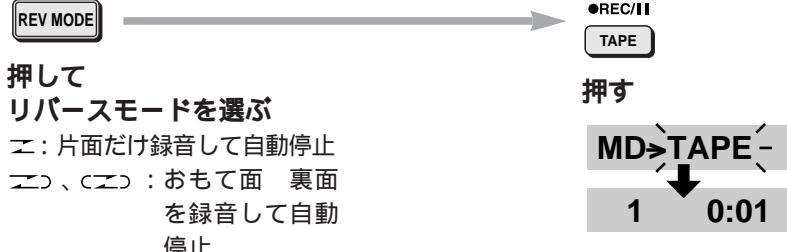
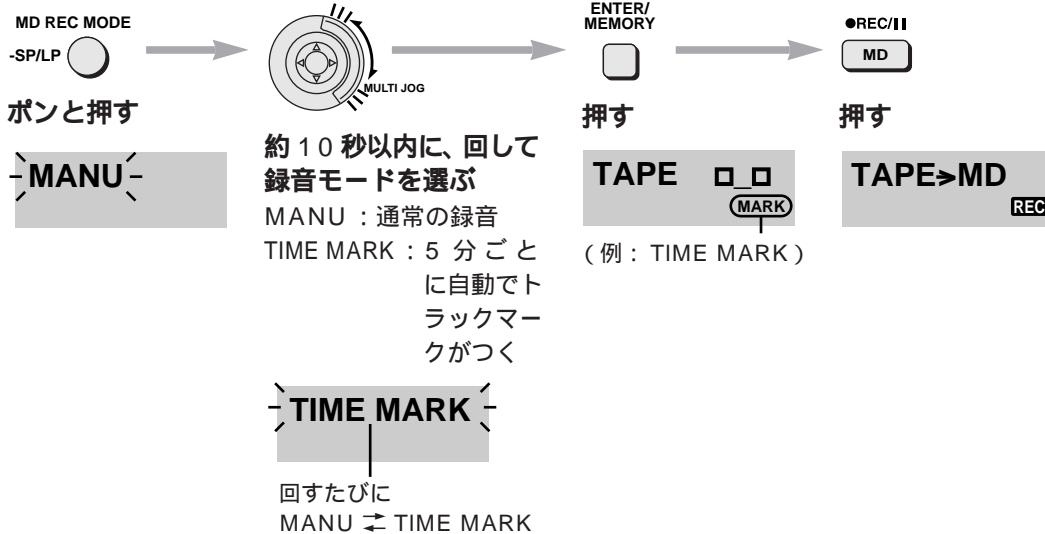
トラックマークを付けるには

[DIVIDE] を押す。

MD の残り時間を知るには

[DISP/CHARA] をポンポンと押して、残り時間表示にする。

いろいろな録音



使いかた

MD をテープに録音する
MD をテープに録音する

MD をテープに録音するとき

途中で止めるには

[] を押す。

一時停止するには

[REC/II、TAPE] を押す。

(再開するには、もう一度押す)

曲を選んで録音するには

①好みの曲をプログラム予約する。

(⇒ 26・27 ページ)

②[REC/II、TAPE] を押す。

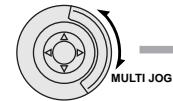
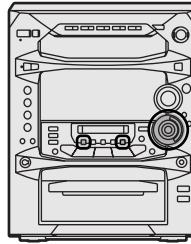
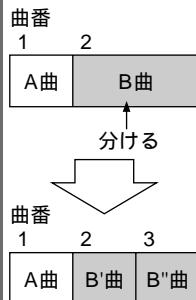
選んだ曲だけ録音して自動停止します。

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルMDを作ることができます。(録音用MDのみ)

ボイス(音声確認)機能を使うと、操作が音声で確認できます。(⇒56ページ)

1曲を 2つに 分ける (ディバイド)

準備：
[MD]を押す。

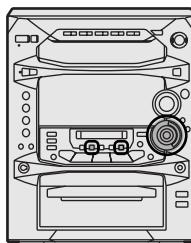
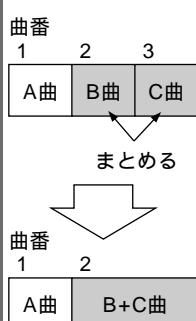


演奏中に、回して
2つに分ける曲番を選ぶ

3

2曲を 1つにま とめる (コンバイン)

準備：
[MD]を押す。



COMBINE



停止中に
押す

COMBINE

ディバイドのとき

途中で解除するには

[]、[EDIT CANCEL]を押す。

編集前の状態に戻すには

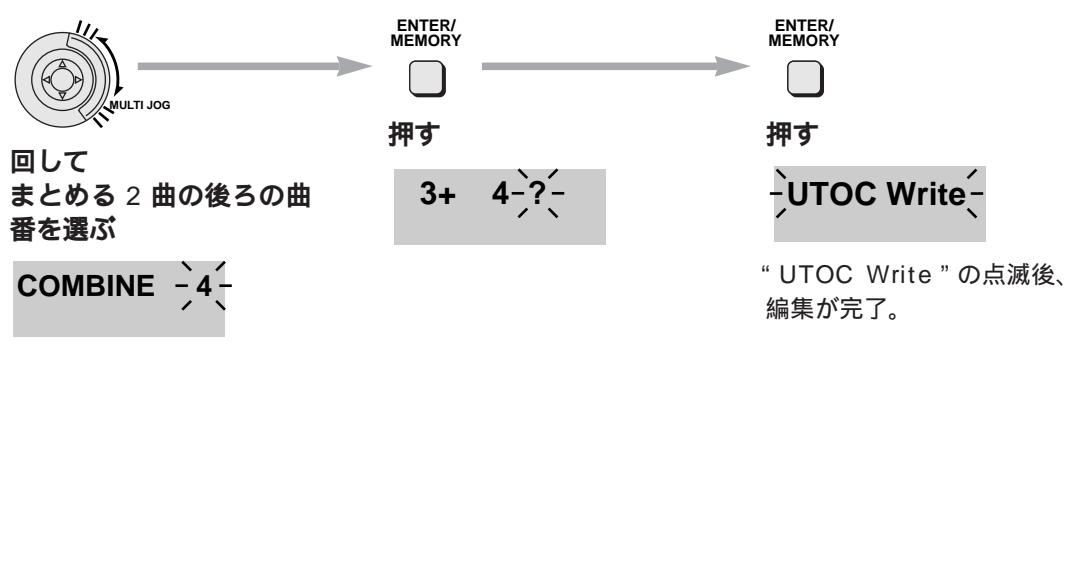
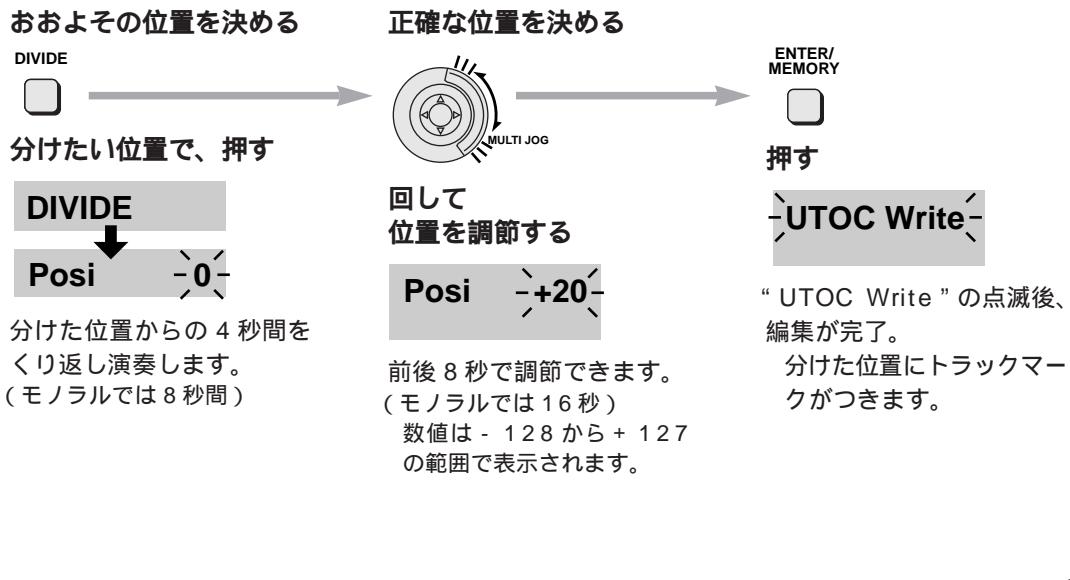
コンバイン機能をお使いください。

リモコンでもできます

- ① [MD]を押す。
- ② [1]～[0] [≥10]で、2つに分ける曲番を選ぶ。
- ③ 分けたいおおよその位置で、[DIVIDE]を押す。
- ④ 正確な位置を、[◀◀/◀◀]または[▶▶/▶▶]で調節する。
- ⑤ [ENTER]を押す。

MDを編集する

使いかた
1 曲を2つにまとめる(コンバイン)
2 曲を1つにまとめる(ディバイド)



コンバインのとき

途中で解除するには

[]、[EDIT CANCEL]を押す。

編集前の状態に戻すには

ディバイド機能をお使いください。

演奏中(または一時停止中)でもできます

①まとめる2曲の後ろの曲を演奏(一時停止)する。

②[COMBINE]を押す。

③[ENTER/MEMORY]を押す。

リモコンでもできます

①[MD]を押す。

②停止中に[COMBINE]を押す。

③[1]～[0][≥10]で、まとめる2曲の後ろの曲
を選ぶ。

④[ENTER]を押す。

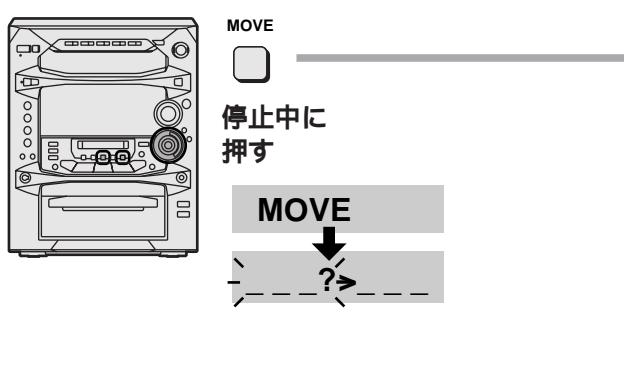
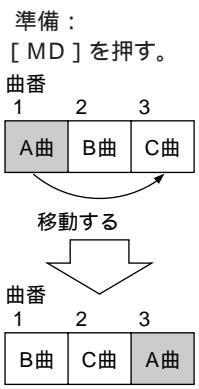
お知らせ

2曲を1つにまとめるとき、後ろの曲についていたタ
イトルは消え、前の曲のタイトルになります。

ステレオの曲とモノラルの曲は、1つにまとめられ
ません。“NOT”“COMBINE”と表示します。

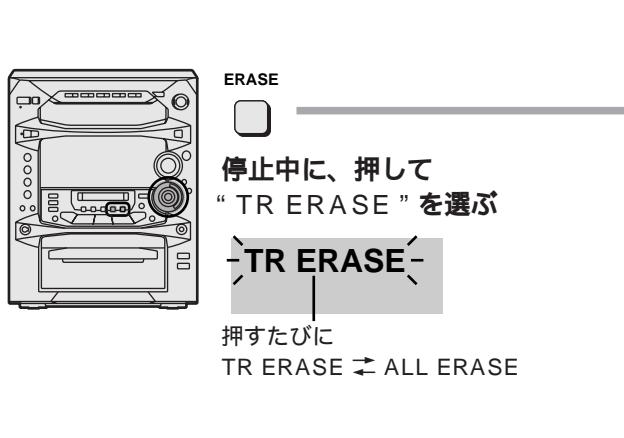
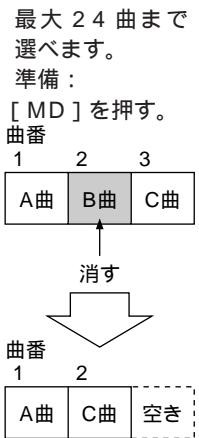
曲を移動する

(ムーブ)



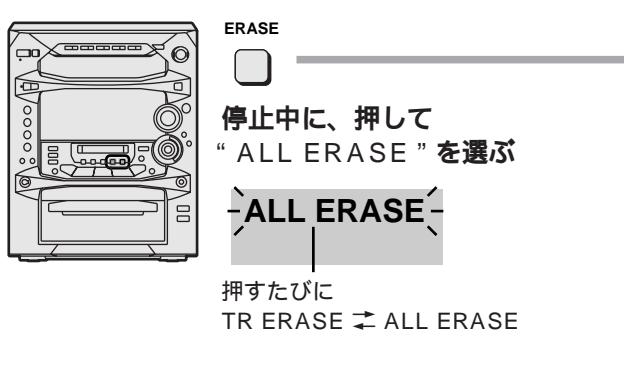
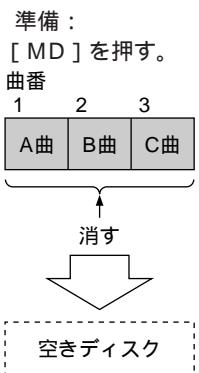
1曲/数曲を選んで消す

(トラックイレース)



一度に全曲を消す

(オールイレース)



ムーブのとき

途中で解除するには

[、 EDIT CANCEL] を押す。

- 演奏中（または一時停止中）でもできます
- ① 移したい曲を演奏（または一時停止）する。
 - ② [MOVE] を押す。
 - ③ [MULTI JOG] を回して、移動先を選ぶ。
 - ④ [ENTER/MEMORY] を押す。

リモコンでもできます

- ① [MD] を押す。
- ② 停止中に [MOVE] を押す。
- ③ [1] ~ [0] [≥10] で、移したい曲を選ぶ。
- ④ [1] ~ [0] [≥10] で、移動先を選ぶ。
- ⑤ [ENTER] を押す。

トラックイレースのとき

途中で解除するには

[、 EDIT CANCEL] を押す。

演奏中（または一時停止中）でもできます

- ① 消したい曲を演奏（または一時停止）する。
- ② [ERASE] を押す。
- ③ [ENTER/MEMORY] を押す。
- ④ [ENTER/MEMORY] を押す。

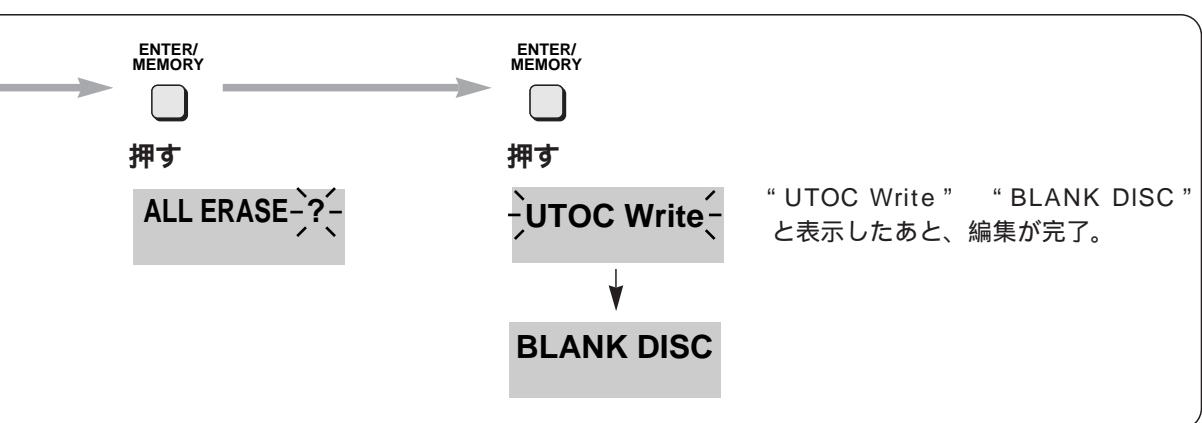
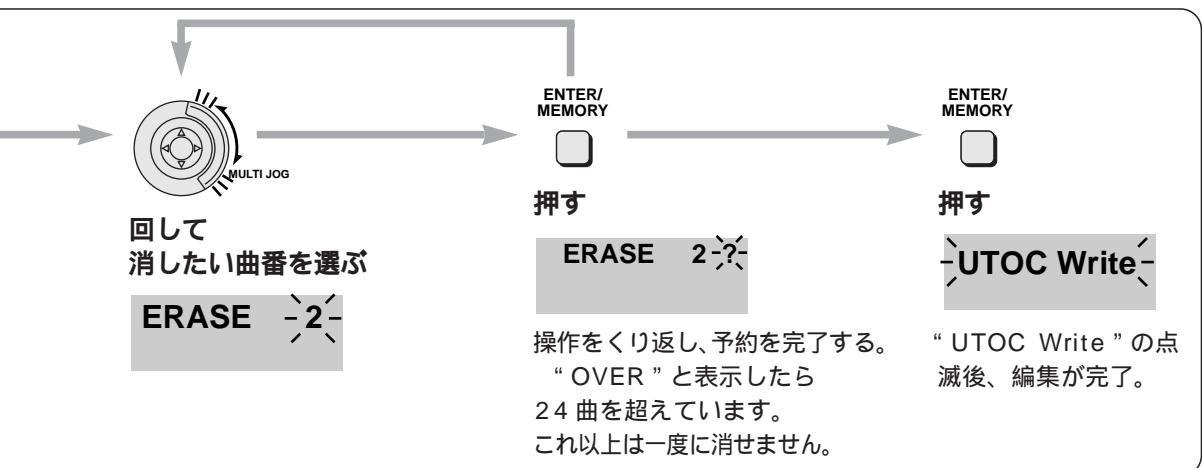
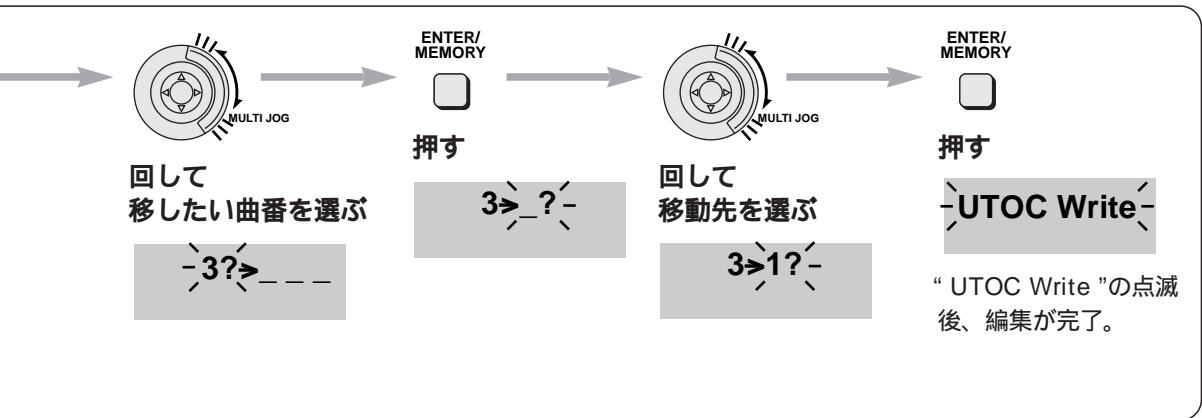
リモコンでもできます

- ① [MD] を押す。
- ② 停止中に [ERASE] を押して、“TR ERASE”を選ぶ。
- ③ [1] ~ [0] [≥10] で、消したい曲を選ぶ。
- 同じ操作で、消したい曲番をすべて選ぶ。
- ④ [ENTER] を押す。

MDを編集する

使いかた

曲を消す(イレース)
曲を移動する(ムーブ)

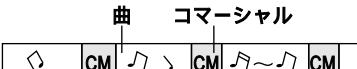


オールイレースのとき

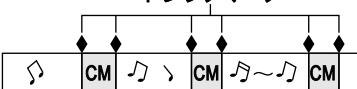
- 途中で解除するには
[EDIT CANCEL] を押す。
リモコンでもできます
- ① [MD] を押す。
- ② 停止中に [ERASE] を押して、" ALL ERASE " を選ぶ。
- ③ [ENTER] を押す。
- ④ [ENTER] を押す

不要なCMなどを消すには(MD編集の応用例)

- ① ラジオ放送を録音する。



- ② ディバイドでトラックマークを付ける。
トラックマーク



- ③ トラックイレースでCMの曲番を消す。



MDに タイトル を付ける 前に

ここでは、本体 / リモコンを使った文字入力の方法を説明します。
実際に MD にタイトルを付けるときは、42・43 ページも併せてお読みください。

入力できる文字について
文字数

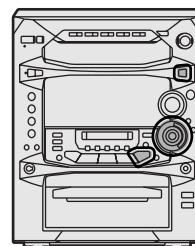
- ・1 枚の MD に約 1700 字入ります。文字の種類、曲数などの関係で、少し減ることがあります。
- ・約 1700 字の範囲で、ディスクタイトル / 各トラックタイトルに最大 100 字まで入ります。

文字の種類

- ・カタカナ(大) : アイウエオカキクケコなど
(小) : アイウエオヤユヨツ
- ・英字(大) : ABCDEFG など
(小) : abcdefg など
- ・数字
- ・記号

本体で 入力する 方法

準備：
① [MD] を押す。
② [TITLE] を押す。
(ディスクタイトルの入力画面になります)



DISP/
CHARA
-DEMO-

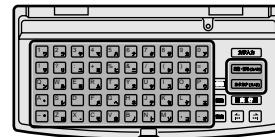
押して
文字の種類を選ぶ



英字(大) 英字(小)

リモコン で入力す る方法

準備：
① [MD] を押す。
② [文字入力] を押す。
(ディスクタイトルの入力画面になります)



カタカナ(大/小) または
押して
文字の種類を選ぶ
押すたびに
カナ(大) ⇔ カナ(小)

文字の訂正などについて

準備：入力画面にする。

訂正するには

- ① [←] または [→] (本体では [] または []) で、訂正する文字にカーソルを合わせる。
- ② 新たな文字を入力する。
以前の文字を上書きして、新たな文字が入ります。
- ③ [実行] (本体では [ENTER/MEMORY]) を押す。

削除するには

- ① [←] または [→] (本体では [] または []) で、削除する文字にカーソルを合わせる。
- ② [削除] (本体では [ERASE]) を押す。
カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。
- ③ [実行] (本体では [ENTER/MEMORY]) を押す。

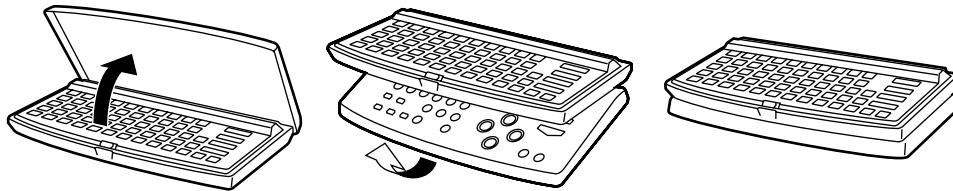
MDにタイトルを付ける

使いかた

リモコンでの入力

キーボード・リモコンを使うには

- ① 上パネルを開く。 ② 回転させて、完全に折り曲げる。

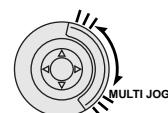


お願い

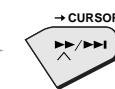
上パネルを斜めに開いた状態で使用しないでください。送信部がふさがれ、適切に動作しません。



カタカナ（大）カタカナ（小）



回して
文字を選ぶ



押す
文字が入力されます。

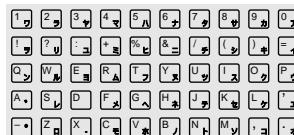


[]で元の表示に戻る。

英数・記号(大/小)

押して
文字の種類を選ぶ

押すたびに 英字（大）→ 英字（小）
(数字・記号には、大／小の区別はありません)



押す
文字が入力されます。



[解除]で元の表示に戻る。

挿入するには

- ① [←] または [→] (本体では [] または []) で、挿入する位置の右の文字にカーソルを合わせる。
- ② 挿入する文字の数だけ [空白] (" ← " と表示) を押す。
- ③ 新たな文字を入力する。
- ④ [実行] (本体では [ENTER/MEMORY]) を押す。

お知らせ

文字の種類は入力中でも切り換えられます。(リモコン / 本体とも)

リモコンでは、以下の記号が入力できません。本体から入力してください。

* @ \$; < > ` "

濁点や半濁点は、表記可能なカタカナの後にだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補としても表れません。

文字と、濁点・半濁点の間に空白などは挿入できません。

文字を挿入することで、最大文字数を超えた場合は、末尾の文字から順に削除されます。

録音済み MD にタ イトルを 付ける

リモコンでの操
作方法を説明し
ます。
本体 使用 時 は
40・41 ページ
を参照してくだ
さい。
準備 : [MD] を
押す。



ディスクタイトルの
とき

文字入力

停止中に
押す

入力画面になります。

DISC TITLE
↓
[]

次の手順をとばして
「文字を入力する」に
進む。

CD から MD に 録音中、 まとめて タイトル を付ける

録音中にタイトル
入力を済ませるこ
とができます。
入力開始位置に
関係なく、最大
24 曲まで一括
入力できます。



CD MANAGER

1 DISC モードで録
音する
(30・31 ページ)

1DISC
1DISC
CD MANAGER

録音を始めます。

録音済み MD へのタイトル入力

途中で入力をやめるには
[解除] を押す。
入力画面から、元の表示に戻ります。

録音中（または演奏中）に入力するには
録音中（または演奏中）の曲にタイトルが付けられます。
録音（または演奏）が次の曲に移っても、タイトルが
次の曲に付くことはありません。

- ① 録音中（または演奏中）に、[文字入力] を押す。
- ② 文字を入力する。
- ③ [実行] を押す。

お知らせ

演奏中にタイトル入力した場合は、[] を押して
“ UTOC Write ” と点滅するまで、ディバイドなどの
編集操作が行えません。

MDにタイトルを付ける

CDからMDに録音中、まとめてタイトルを付ける
録音済みMDにタイトルを付ける

トラックタイトルのとき

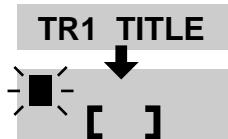
停止中に、押して曲番を選ぶ

1

文字入力

押す

入力画面になります。



文字を入力する

LOVE Song

実行

押す

(本体使用時は[ENTER/MEMORY]を押す)

UTOC Write

TR2 TITLE

続けて入力するときは[文字入力]を押す。

文字入力

文字を入力する

実行

録音中に押す

入力画面になります



True Love

押す

(本体使用時は[ENTER/MEMORY]を押す)

TR2 TITLE

続けて入力するときは[文字入力]を押す。

最後の曲にタイトルを付け、[実行]を押すと、“Writing”と表示して入力が完了。

録音中のMDへのタイトル一括入力

途中で[解除]を押したときは

残りの曲に、一括入力することはできません。“CAN NOT”“TITLE IN”と表示します。(ただし、[解除]を押すまえに1曲も[実行]していないときは可能です)残りの曲にタイトルを付けるときは、「録音済みMDにタイトルを付ける」の操作をしてください。

お願い

必ず1DISCモードで録音してください。他のモードで録音中は一括入力できません。

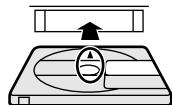
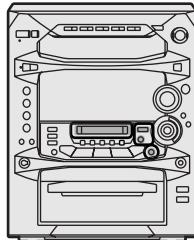
録音中に、数字ボタンで曲をとび越したり、CDを選び直したりしないでください。

タイトルが正しい曲に付きません。

タイトル を他の MD にコ ピーする

(タイトルステー
ション)

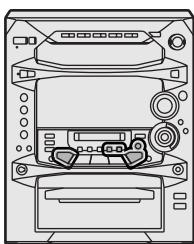
同じ曲を複数の
MD に録音する
場合、1 度タイ
トルを入れてお
けば、2 度目か
らは再入力の手
間が省けます。
下記の「タイ
トルをコピーする
前に」をお読み
ください。
準備 : [MD] を
押す。



コピー元の MD を入
れる

MD に 付けた タイトル を消す

準備 : [MD] を
押す。



ディスクタイトルの
とき

TITLE
○

停止中に
押す

入力画面になります。

DISC TITLE
↓
-LOVE Song

次の手順をとばして
「押し続ける」に進む。

タイトルをコピーする前に

タイトルのコピーは、元になる MD と、コピー先
MD の曲数が同じときに限ります。

演奏専用 MD や、未録音の MD (BLANK DISC)
は使用できません。

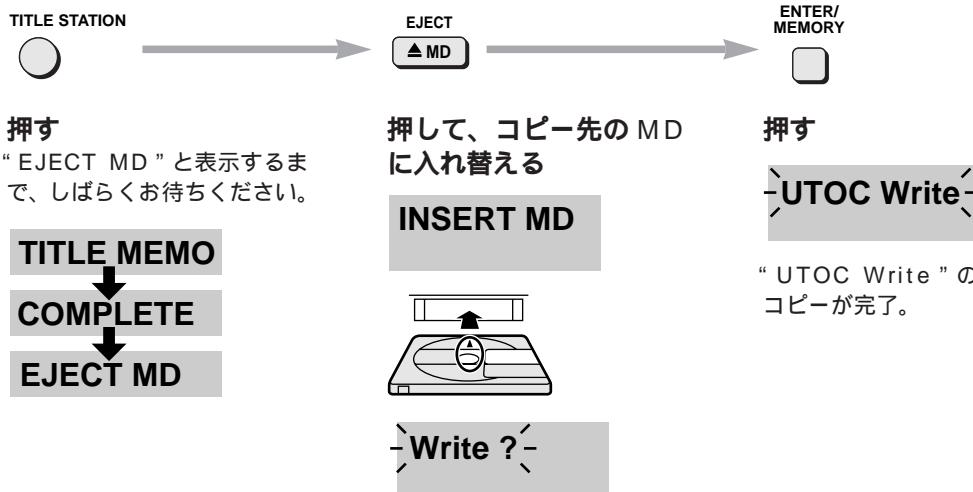
すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピー
すると、以前のタイトルはすべて消えます。

途中で解除するには
[CANCEL] を押す。

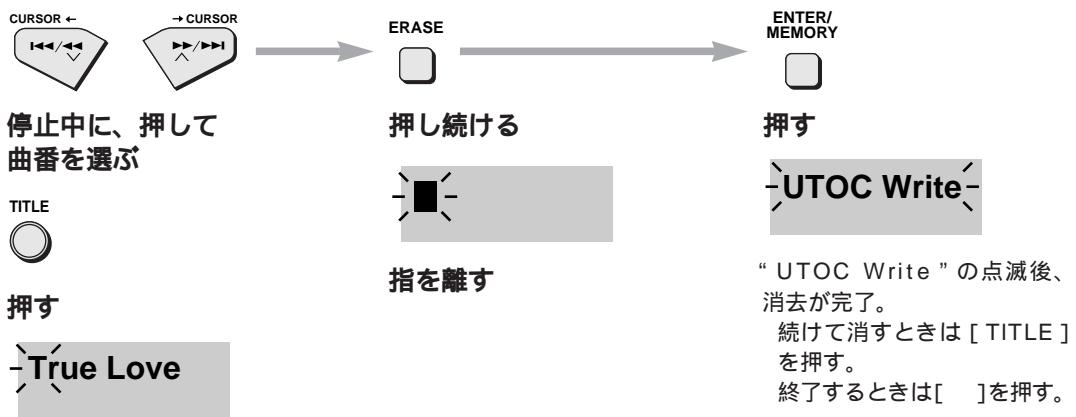
MDにタイトルを付ける

使いかた

MDに付けたタイトルを消す
タイトルを他のMDにコピーする

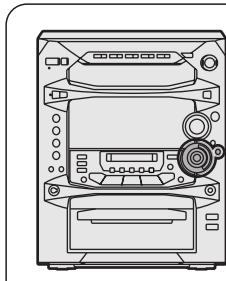


トラックタイトルのとき



内蔵の音質 / 音場を使う

(イコライザー)



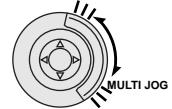
EQ

押す

HEAVY

•HEAVY
CLEAR
SOFT

押すたびに
切 ⇄ 音質表示
("HEAVY"など)



約10秒以内に、回して
好みの音質 / 音場を選ぶ

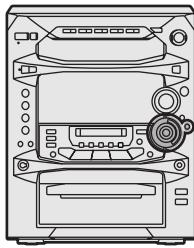
SOFT

•HEAVY
CLEAR
•SOFT

好みの音質に 変える

(マニュアル・
イコライザー)

5つの音域でレ
ベルを変えられ
るので、細かい
音質調整ができ
ます。



EQ

押す

HEAVY

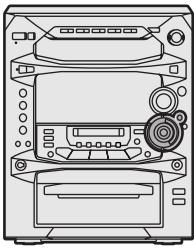
•HEAVY
CLEAR
SOFT

押すたびに
切 ⇄ 音質表示
("HEAVY"など)

音に広 がりを 与え、 音質を 変える

(3D AI イコラ
イザー)

サラウンドとAI
EQの組み合わ
せで、好みの音
づくりが楽しめ
ます。



3D-AI

押す

3D-AI 1

押すたびに
切 ⇄ 3D-AI (または
AI EQ) 表示

録音時の音量・音質・重低音効果について
録音レベルは自動的に設定されます。
音量・音質・重低音効果を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音されるMD・テープには影響しません。

イコライザーのとき

解除するには

[EQ]を押し、[MULTI JOG]を回して"FLAT"を選ぶ。

リモコンでもできます

[EQ]を押して、好みの音質に切り換える。

V. BASSのとき

解除するには

[V. BASS]を押す。
ボタンランプが消えます。

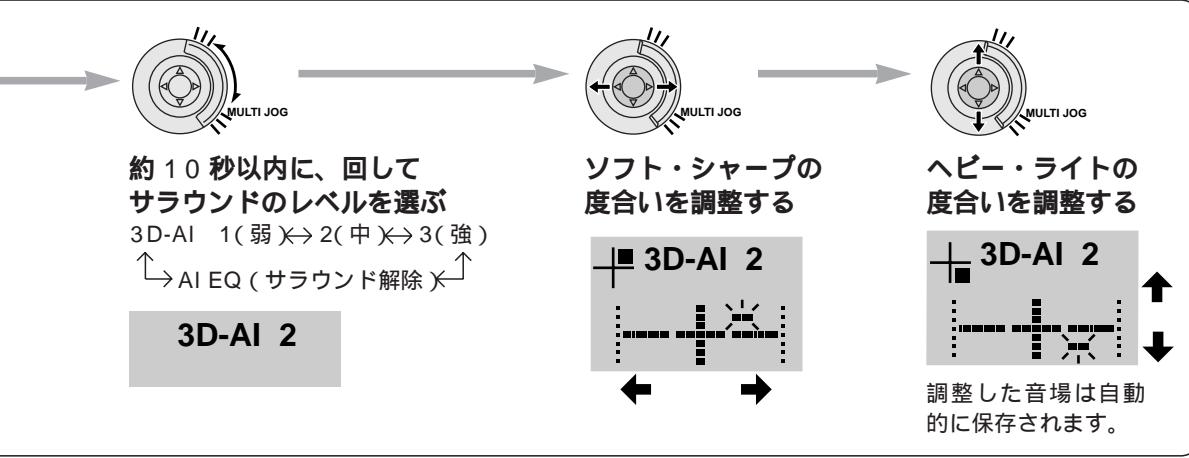
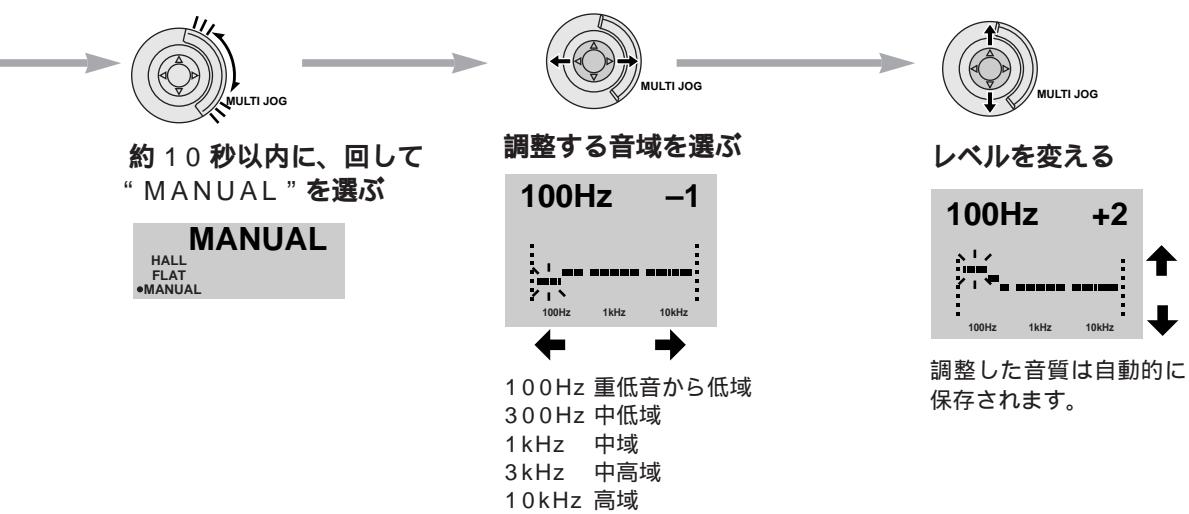
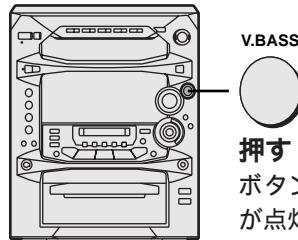
音質を調整する

好みの音質に変える
内蔵の音質/音場を使う
音に広がりを与える
音質を変える

重低音を強調する

HEAVY	ロックなど。パンチを効かせる。
CLEAR	ジャズなど。高音部を鮮明にする。
SOFT	BGMとして聞く。
DISCO	ディスコのような長い残響音。
LIVE	ボーカルにツヤを出す。
HALL	大ホールのような音の広がり。
FLAT	
MANUAL (下記参照)	

重低音を強調する (V.BASS)



マニュアル・イコライザーのとき

解除するには
[EQ]を押し、[MULTI JOG]を回して“FLAT”を選ぶ。
リモコンでもできます
[EQ]を押して、“MANUAL”を選ぶ。
MANUALで前回設定した音質に切り換わります。

3D AI イコライザーのとき

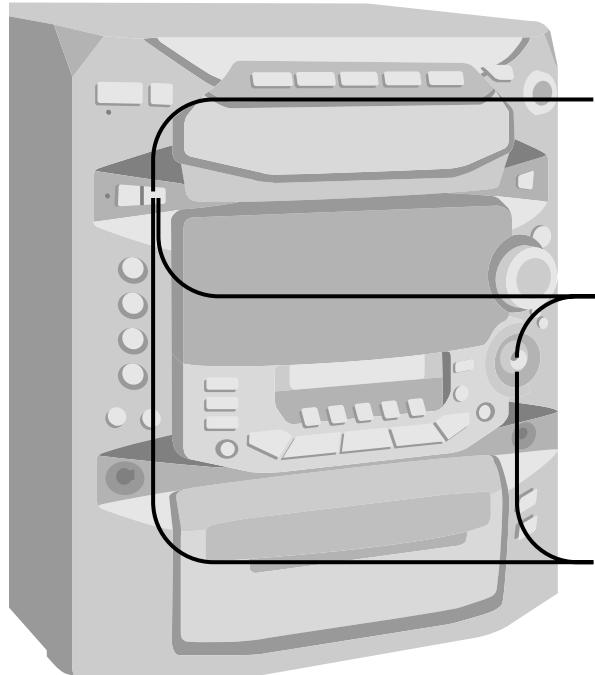
解除するには
[EQ]を押し、[MULTI JOG]を回して“FLAT”を選ぶ。
リモコンでもできます
[EQ]を押して、“3D-AI(またはAI EQ)”を選ぶ。
前回設定した音質に切り換わります。
お知らせ
ソース(音源)によっては、レベルが高いと、音がひずむことがあります。このときは、サラウンドのレベルを下げてお聞きください。

おめざめタイマーを使う

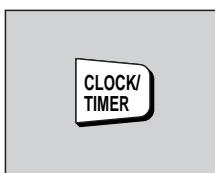
準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。
(\Rightarrow 10ページ)

好みの時刻に電源が入り、好みのソース(音源)を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。時刻設定を一度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

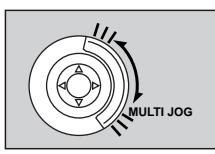
時刻設定



1



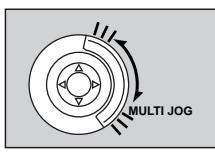
2



約10秒以内に、回して
開始時刻に合
わせ

↓
押す

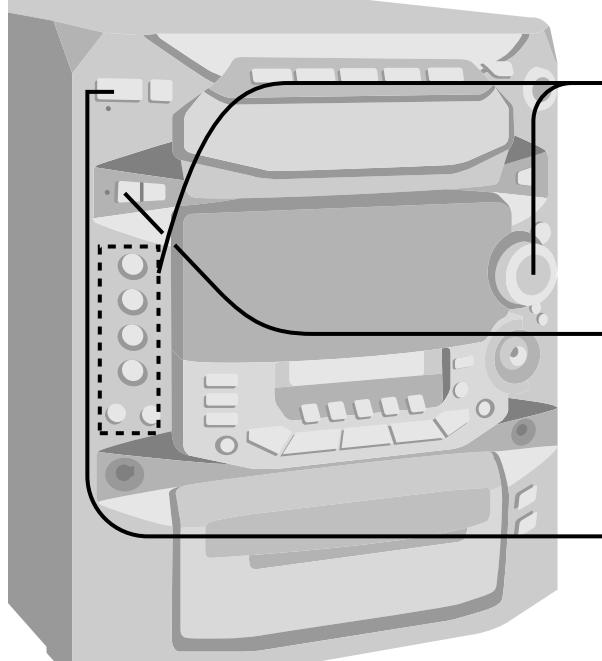
3



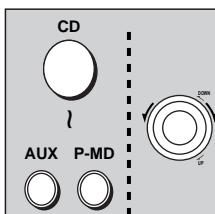
回して
終了時刻に合
わせ

↓
押す

ソース・音量・タイマー実行設定



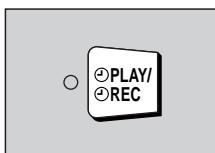
4



ソースと音量
を選ぶ

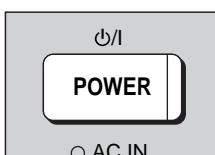
- ①ソースを演奏し、
- ②音量を調節、
- ③ラジオ以外のソースは演奏を止める。

5



押して
“PLAY”
を選ぶ

6



押して
電源を切る

解除するには

[\odot PLAY/ \odot REC] を押して、“PLAY”を消す。

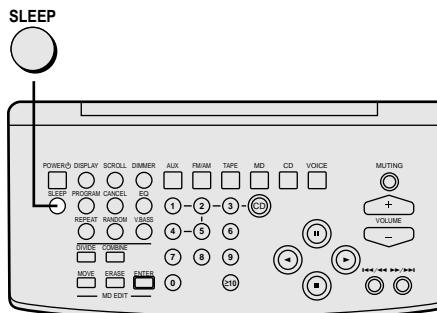
タイマーを使う

おやすみタイマー
おめざめタイマー

おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

指定した時間がくると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。



押すたびに
CLOCK → ①PLAY → ①REC
元の表示 ←

6:30 ①PLAY
ON

6:30 ①PLAY
OFF

7:40 ①PLAY
OFF

VOL -40dB

押すたびに ①PLAY → ①REC
消灯(解除) ←

設定した時刻になると、決めた音量までフェードイン(徐々に大きく)して、演奏します。

SLEEP 30

SLEEP

ソースを聞きながら

[SLEEP] を押して演奏時間を指定する

押すたびに

SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF
↑
(単位:分)

解除するには

[SLEEP] を押して "SLEEP OFF" を選ぶ。

使いかた

残り時間を確かめるには

[SLEEP] を1回押す。

残り時間が表示されます。

残り時間を変えるには

[SLEEP] をポンポンと押して、新たに時間を指定する。

お知らせ

指定した時間がくる前に、MD・CD・テープなどの演奏が終わって自動停止した場合は、その時点で電源が切れます。

おやすみタイマーは、他のおめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

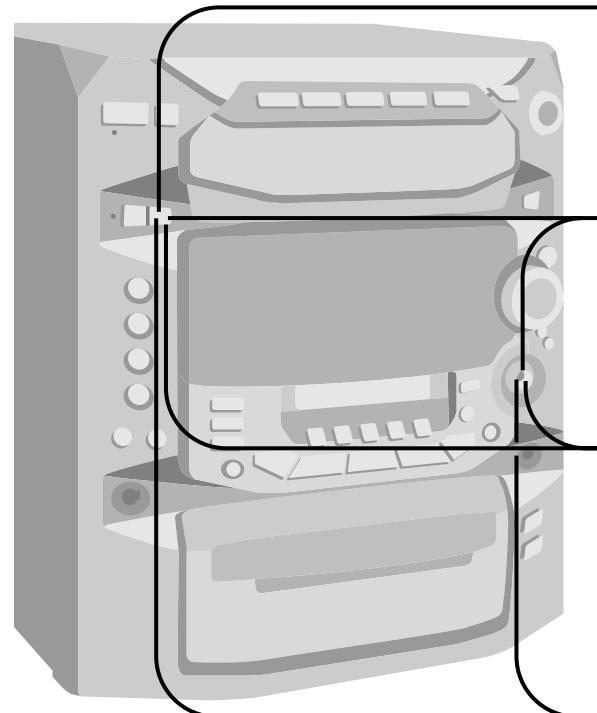
17 56:21 ①PLAY

留守録タイマーを使う

- 準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。（ \Rightarrow 10ページ）
③録音用 MD（またはテープ）を入れる。

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

時刻・録音先設定

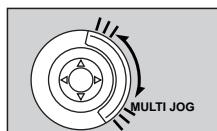


1



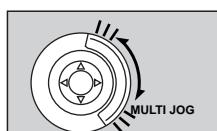
3回押して
タイマー時刻
設定画面にする

2



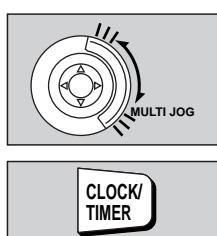
約10秒以内に、回して
開始時刻に合わせ
↓
押す

3

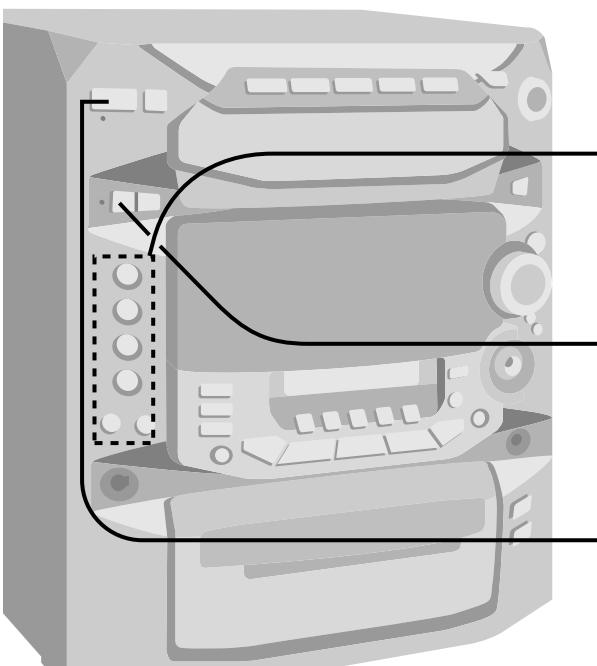


回して
終了時刻に合わせ
↓
押す

4

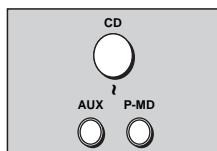


どちらに録音
するかを選び
↓
押す



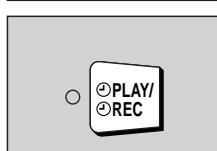
ソース・タイマー実行設定

5



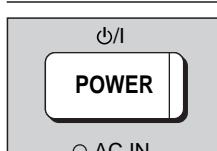
押して
ソースを選ぶ

6



押して
“ \oplus REC”を
選ぶ

7



押して
電源を切る

解除するには

[\oplus PLAY/ \ominus REC] を押して、“ \oplus REC”を消す。

いろいろなタイマー操作について

(おめざめタイマー・留守録タイマー共通)



予約した内容を確かめるには
電源「切」時でも確認できます。

“④PLAY”(または④REC)表示状態で、[CLOCK/TIMER]を押して“④PLAY ON”(または④REC ON)を表示させる。

自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。

おめざめタイマー

開始時刻 終了時刻 ソース(音源) 音量

留守録タイマー

開始時刻 終了時刻 ソースと録音先 録音モード(MDのみ)

操作をまちがえたり、予約内容を変えるときは
電源を入れ、最初からやり直す。

予約したあとに、本機で演奏を楽しむには

- ① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
- ② 演奏後は、電源を切る。

音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

タイマー動作する/動作しないを切り換えるには

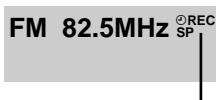
タイマーは、“④PLAY”(または④REC)が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないとときは、[④PLAY/④REC]で表示を消します。

お知らせ

タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。



FM 82.5MHz SP



押すたびに ④PLAY → ④REC
↑ 消灯(解除) ↓

頭切れ防止のため、設定した時刻の
30秒前になると、録音が始まります。
録音時、音量は自動的に最小になります。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーや、ビジュアル / タイトルプリンター(ともに別売り)と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

MD ネットワーク対応の ポータブル MD プ レーヤーをつなぐ

ネットワー ク機能で MD から MD に 録音する

録音元 MD にタ
イトルが付いて
いるときは、そ
のタイトルが、
本機側の MD に、
自動的にコピー
されます。

お知らせ
市販の演奏専用
MD から録音す
る場合、タイト
ルはコピーされ
ません。

準備 :
① ポータブル MD
プレーヤーに、
録音元 MD を
入れる。
② 本機の電源を
入れ、録音用
MD を入れる。

本機からポータブル MD プレーヤーをコントロー
ルして、録音 / タイトル入力が簡単に行えます。
電源を切った状態で接続してください。

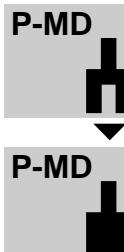
対応品



このマークが付いている
ポータブル MD プレーヤー
です。(SJ-MJ75 など)

詳しくはカタログなどでお確かめください。

P-MD
○
押す



自動的にネットワーク
が確立し、表示パネル
にポータブル MD 側の
総曲数が表示されます。

P-MD (12)
|
総曲数

ポータブル MD 側は、
自動的に、適切な音
量・フラットな音質に
設定されます。

録音用 MD には、少し余裕のあるものを
録音元 MD にトラックマークが付いているときは、新たに録音した MD の同じ位置に、約 1 秒間の無音部
が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元
MD の演奏時間より長くなります。

録音の失敗を防ぐために、少し長めの MD をお使いください。

録音が終わったら
ポータブル MD プレーヤーの電池の消耗を防ぐため、
コードを抜いてください。

“ P-MD ” が点滅したら
ボタン操作がない状態で約 4 分以上放置されているた
め、MD ネットワークが休止状態になっています。
ネットワーク機能を使うときは、もう一度 [P-MD]
を押してください。

動作中 (TOC 読み込みなど) に “ P-MD
ERROR ” と表示したら
MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD プレーヤーの電池残量や、コードの接
続を確認して、もう一度 [P-MD] を押してください。

MD ネットワーク機能を使う

ネットワーク機能で MD から MD に録音する
ポートブル MD プレーヤーをつなぐ

レック モード マニュアル

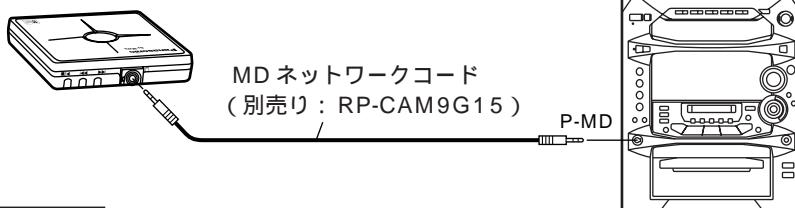
コンバイン

お願い

ポートブル MD プレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ポートブル MD プレーヤー

(パナソニック SJ-MJ75 などの MD ネットワーク対応品)



お知らせ

MD ネットワーク対応のパーソナル MD システム / 他の MD ステレオシステムをつないでも、この機能は働きません。

全曲録音するとき

●REC/II

MD

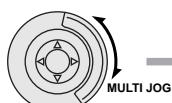
押す

P-MD → MD → REC

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、
自動停止します。

P-MD 1
REC

1 曲ずつ録音するとき



●REC/II

MD

回して
曲番を選ぶ

[◀◀/◀◀] または
[▶▶/▶▶] で選ぶことも
できます。

押す

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると自動停止します。

確認の意味で、選んだ曲
の演奏が自動的に始まり
ます。

ビジュアル / タイトルプリンター (対応品 :
SH-CP30) を使うには

MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベル
が印刷できます。

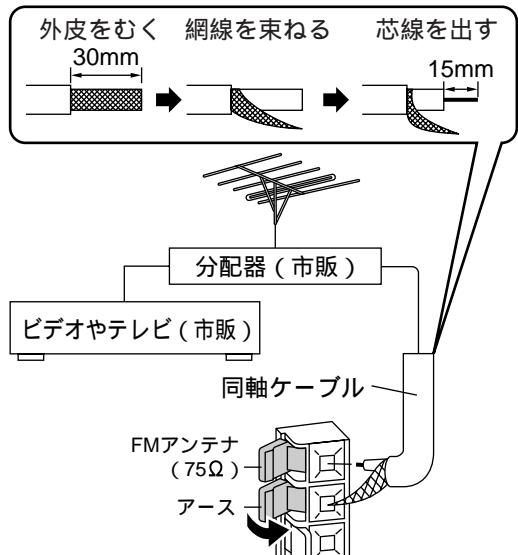
詳しくは、ビジュアル / タイトルプリンターの説明書
をお読みください。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

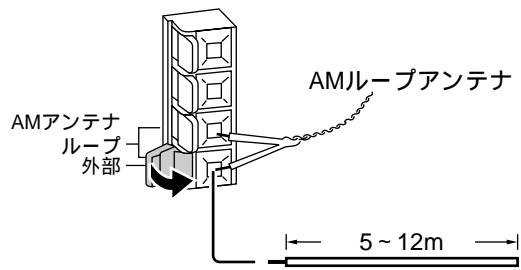
FM (テレビアンテナの利用)

付属のFM簡易型アンテナは取りはずします。



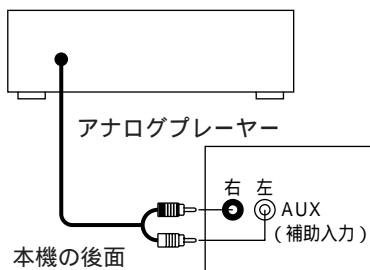
AM (市販のビニール線)

付属のAMループアンテナは取りはずさないで、いつしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。



別売り機器の接続

アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など (AUX補助入力: アナログ接続)

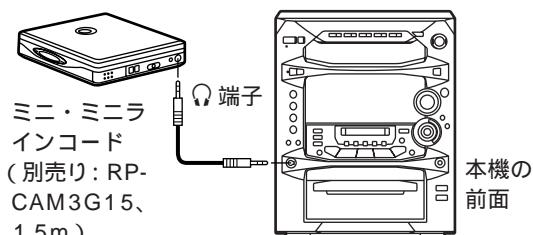


アナログプレーヤーをつなぐには
フォノイコライザー(市販)が必要です。そのまま
つなぐと、音が小さくなります

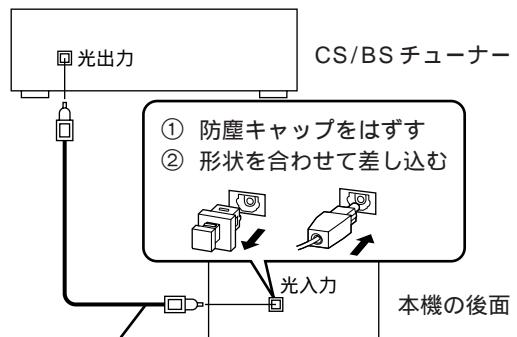
推奨品: パナソニック SL-J8(フォノイコライザー内蔵)

ポータブルMDプレーヤー(P-MD)

MDネットワーク対応のポータブルMDプレーヤーの場合は、52・53ページの方法で接続してください。



CS/BSチューナー、MDレコーダーなど (光入力: デジタル接続)



オプティカルデジタルケーブル
(別売り: RP-CA2010A、1m)
光入力端子を使わないときは
ほこりが入ると誤動作の原因になるため、防塵キャップを付けておいてください。

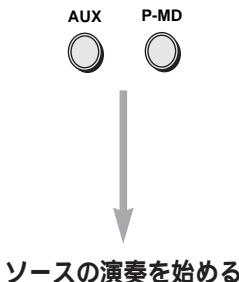
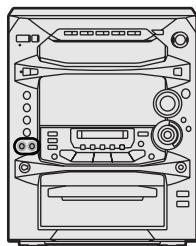
ミニ・ミニラインコード使用時に音が歪む場合は、
ポータブルMDプレーヤーのΩ(ヘッドホン)端子に接続し、ポータブルMDプレーヤーの音量を調節してください。

屋外アンテナ、別売り機器の接続

使いかた

別売り機器を使う

つないだ機器の演奏を本機で楽しむ

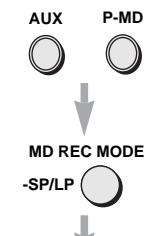
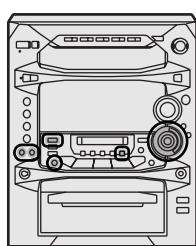


押して
ソース(音源)を選ぶ
自動的に電源も入ります。
[AUX]を押すたびに
ANALOG-IN：
アナログプレーヤー、テ
レビなど
DIGITAL-IN：
CS/BSチューナーなど

つないだ機器から本機のMDに録音する

CS/BSチューナー
アナログプレーヤー
ポータブルMDプレーヤー

などから本機のMDに録音できます。



ENTER/MEMORY

●REC/II

MD

ソースの演奏を始める

押して
ソースを選ぶ
自動的に本機の電源が入ります。

押す

約10秒以内に回して
録音モードを選ぶ

(\Rightarrow 33ページ)
ポータブルMDから録音するときは、MANUと
SYNCのみ選択できます。

押す

押す

ターンバックと
ターンタイム
TURN/TIME選択時のみ
押す

MDネットワーク
対応のポータブル
MDプレーヤーの
場合は、52・
53ページの方法
で録音すると便利
です。

- つないだ機器から、本機のテープに録音するには
- [AUX]または[P-MD]を押して、ソース(音源)を選ぶ。
 - [REV MODE]を押して、リバースモードを選ぶ。
 - [REC/II]、[TAPE]を押す。
 - ソースの演奏を始める。
- 途中で止めるには
- []を押す。

P-MD端子について

この端子は、ポータブルMDプレーヤーとビジュアル/タイトルプリンター専用です。
端子の感度が通常とは異なるため、他の機器はつながないでください。

“DIGITAL-IN”表示中は

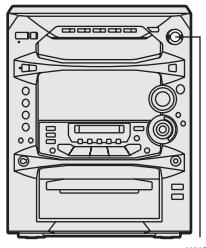
本機のMDを取り出すと、演奏音が少し途切れます。
MDへの録音開始時に、約1秒間、演奏音が途切れ
ます。(録音には影響しません)
MDへの録音終了時にUTOCを記録するため、約5
秒間演奏音が途切れます。

お知らせ

本機にはサンプリングレートコンバーター機能が付
いているため、CS/BSチューナーの音声
(32kHz/48kHz)も録音できます。
曲によっては、SYNC録音モードを使うと、曲の最
初の部分が録音されないことがあります。この場合
は、通常の方法で録音してください。

音声確認機能を使う

(ボイス)



押して

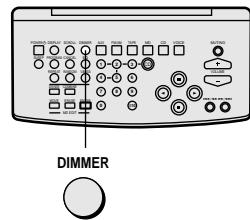


音量または「切」を選ぶ
押すたびに
VOICE1 (小) → 2 (中)
↑ ↓
VOICE OFF(切) ← 3 (大)
[VOLUME] つまみとは
関係なく働きます。

表示パネルの明るさを変える

リモコンのみ
(ディマー)

表示パネルとボタンランプ
が少し暗くなります。
就寝時など、暗い部屋でパ
ネルの明るさが気になるとき
に使います。



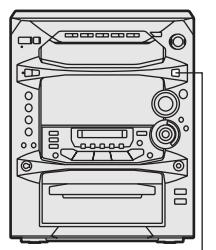
押す

解除するには
もう一度、押す。

表示を切り換える

(ディスプレイ)

本機の状態（停止・演奏・
録音）やソース（音源）に
よって、表示する内容は異
なります。



ポンポンと押す

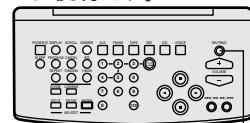
リモコンの [DISPLAY]
も同じ働きをします。

一時的に消音する

(ミューティング)

リモコンのみ

電話がかかってきたときな
どに便利です。



押す

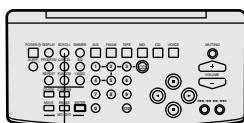


解除するには
もう一度押して“MUTING”
を消す。
または
[VOLUME] を下げる、
“- - dB”を表示させる。
電源を入れ直す。

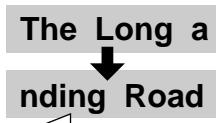
長いタイトルを見る

(スクロール)

リモコンのみ

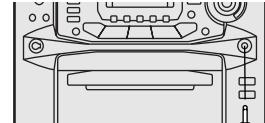


タイトル表示中に
押す



右から左にスクロールします。

ヘッドホン（別売り）で聞く



接続するときは、音量を
下げてください。
耳を刺激するような大き
な音量で長時間聞くこと
は避けてください。
プラグタイプ：
ステレオミニ (M3)
推奨品：
RP-HT400、RP-
HT242(ともに別売り)

MDについて

MDの種類

演奏専用MD

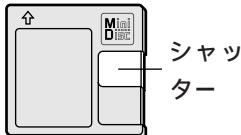
録音できません。

ピットという小さくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。



録音用MD

磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。



MDの録音・編集について

テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きを録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。

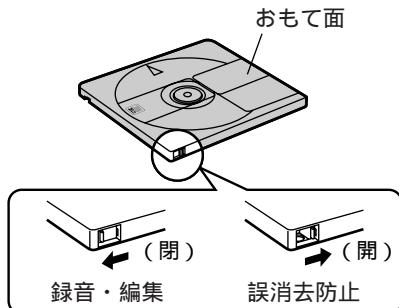
ディスクがいっぱいになったときは、イレース(消去機能)で、いらない曲を消してから録音します。(上書き録音はできません)

MD1枚への録音曲数は254曲、録音時間は60分、74分または80分までです

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらします。新たに録音・編集するときは閉じてください。



デジタル録音の制限について

デジタル録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。

CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています(“コピーのコピー”の禁止)。

なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

録音・編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。

“UTOC Write”の点滅前に電源が切れると、録音・編集がMDに記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。

よく出てくるMD用語

トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

トック TOC (Table of Contents)

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

ユートック UTOC (User Table of Contents)

自分で自由に書き換えるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。MDにUTOCが書き込まれているときは、“UTOC Write”と表示され、注意を促します。

マーキング MARKING

録音中にトラックマークを記録することです。本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

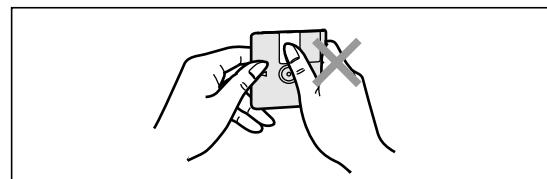
取扱上のお願い

指定外の位置にラベルを貼らない

(また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるMDは、故障の原因になりますので、使用しないでください)

シャッターを開かない

(万一開いてしまったときは、すぐ閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください)



テープについて

100分を超えるテープ

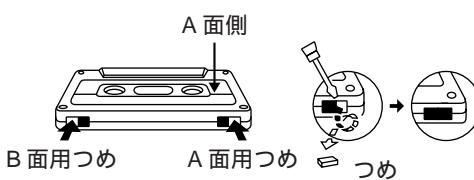
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

エンドレステープはオートリバース対応のものを使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについてくる使用説明をお読みください。

テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

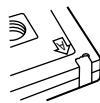


録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。



もう一度録音するには
セロハンテープなどを貼ってください。

ノーマルポジション



ハイポジション



ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないで
ください。

録音を消して無音テープを作るには

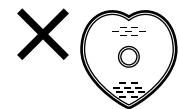
- ① [TAPE] を押す。
- ② テープを入れる。
- ③ リバースモードを選ぶ。
- ④ [REC/II、TAPE] を押す。

CDについて

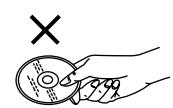


このマークが入ったものをご使用く
ださい。

ただし、ハート型など、
特殊形状のCDは使わな
いでください。(機器の故
障の原因になります)



持ちかた

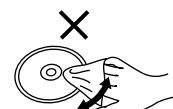
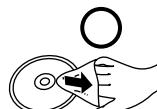


演奏面には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきして
ください。

演奏面(光っている面)



内側から外側へ

露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた
場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の
原因ともなりますので、次のことをお守りください。

鉛筆やボールペンなどで字を書かない

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコー
ルでふかない

紙やシールを貼らない

(セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊
がはみ出したり、はがしたあとがあるものは使わな
いでください)

傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販
品は使わない

MD・テープ・CDの保管

次のような場所に置かない

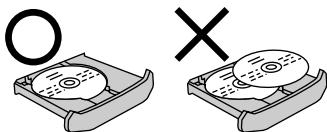
直射日光の当たる場所

湿気やほこりの多い場所

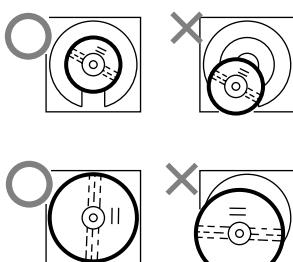
暖房器具の熱が直接当たる場所

CD メカの故障防止のために

トレイには、1枚のCDを入れる



CDは、図の位置に正しく置く



シングルCD(8cmCD)アダプターを使わない
水平なところで使用する(本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください)

トレイが動いている間や、CDを入れたまま本機を移動しない

トレイにCD以外のものを入れない

クリーニングCD、その大きなCD、割れたりヒビの入っているCDを使わない

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布で拭いてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)に浸した布を、固く絞り、拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

MD、テープをよい音でお楽しみいただくために別売りの専用クリーナーなどで、ときどき清掃されることをおすすめします。

MDレンズクリーナー(別売り: RP-CL310)

MD録音ヘッドクリーナー(別売り: RP-CL320)

クリーニングテープ(別売り: RT-CCL)

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより私的録音補償金が含まれてあります。

お問合せ先:(社)私的録音補償金管理協会

☎ 03-5353-0336

放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従って、それらから録音したMDやテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本 部	(03)3502-6551	中部支部	(052)583-7590
北海道支部	(011)221-5088	北陸支部	(0762)21-3602
盛岡支部	(0196)52-3201	京都支部	(075)251-0134
仙台支部	(022)264-2266	大阪支部	(06)6244-0351
大宮支部	(048)643-5461	大阪北支部	(06)6244-7077
東京支部	(03)3562-4455	神戸支部	(078)322-0561
西東京支部	(03)3232-8301	中国支部	(082)249-6362
藤沢・横浜・川崎支部	(03)5286-1671	四国支部	(0878)21-9191
立川支部	(0425)29-1500	九州支部	(092)441-2285
横浜支部	(045)662-6551	鹿児島支部	(0992)24-6211
静岡支部	(054)254-2621	那覇支部	(098)863-1228

必要なとき

お手入れ/著作権について

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によつては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

Q & A

Q (質問)		A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	54
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX 補助入力」端子に接続します。音声のみ本機でお楽しみいただけます。	54
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX 補助入力」端子に接続します。	54
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
MDへの録音	MD ネットワーク対応機器について教えて	パナソニックの  このマークの付いている製品が対応しています。詳しくはカタログなどお確かめください。	52・53
	MD で長時間録音（モノラル）する方法は？	MD 以外のモードで“LP MODE”と表示するまで、[MD REC MODE]を押し続けます。あとは、通常の録音操作をしてください。	21
	録音用 MD の残り時間を知りたい	[DISP/CHARA] をポンポンと押して、残り時間表示してください。	21
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないとときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	
	録音済み MD の続きを録音したい	自動的に前の録音部分の続きを録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
その他	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音レベルは一定です。 録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	46
	メタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。 電源の周波数は本機内部で自動的に切り換わります。	

こんな表示が出たら

表示	意味	処置
- - : - -	電源コードを接続した直後か、あるいは停電のあった可能性があります。	時計を合わせてください。
CAN T EDIT	他の機器で 101 文字以上のタイトルをつけた MD を、本機でタイトル編集しようとしました。	タイトル編集できません。 編集した機器で文字数の少ないタイトルにつけなおしてください。
DISC ERROR、 MD/discERROR	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取りかえてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取りかえてください。
DISC/PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
DISC/Playback	再生専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取りかえてください。
EJECT/ERROR、 LOAD/ERROR	MD を出し入れしたとき、異常が発生しました。 自動的に電源が切れます。	MD をいったん抜いて、電源を入れ、操作しなおしてください。 ただし、テープに録音しているときは電源が切れません。録音終了後に電源を切／入して、操作しなおしてください。
EMERGENCY/STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れなおして、操作しなおしてください。
F26	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れなおしてください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
F61	スピーカーコードがショートしていないか確認してください。	ショートでないときは、電源関係が故障しています。販売店にご相談ください。
NOT/COMBINE	1 曲目をコンパインしようとしました。	2 曲目以降を選択してください。
NOT DIVIDE	ディバイドできません。	MD のシステム上の制約です。
ONLY/RAMDISC	再生専用 MD では、タイトルステーション機能が使えません。	タイトルの入った録音済 MD を使用してください。
PRESS/カイジョ	リモコンは文字入力モード、本体は通常モードになっています。	リモコンの [解除] を押してください。
PRESS/モジニュウリヨク	本体は文字入力モード、リモコンは通常モードになっています。	リモコンの [文字入力] を押してください。
PRESS STOP	MD 演奏中にタイトルを付けたあと、続けて MD を編集しようとしました。	いったん演奏を止めたあと、あらためて MD を編集してください。
PROTECTED/TRACK	コンパインできない曲をつなごうとしました。	MD のシステム上の制約です。
PROTECTED/TRACK ERASE xx ?	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
SCMS/CANNOT COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
TAKE OUT/DISC	CD メカニズムに不具合が生じました。 自動的にトレイが開きます。	トレイに CD があるときは取りのぞき、トレイに CD がないのを確認してトレイを閉めます。ディスクチェンジの動作音が終わったら、通常の操作ができます。
TITLE FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
TOC Read	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	TOC Read 消灯後に操作してください。
UNLOCK	デジタル録音できません。	オプティカルデジタルケーブルの接続を確認してください。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。 254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。 MD のシステム上の制約です。

必要なとき

こんな表示が出たら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは		ここをご確認ください	処置	参考ページ
システム全体に共通	ECO モードなのに表示パネルが全消灯しない。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	10
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの \oplus 、 \ominus を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	54
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	
	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの \oplus 、 \ominus がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	
FM	ステレオ放送に雑音に入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	54
	ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	“ST”が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		54
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていないませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーの電源を切ってみる。	
AM	ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありますか。	テレビアンテナを利用してみる。	54
	雑音が多い。	テレビやパソコンと一緒に使用したり、携帯電話機の充電を近くでしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
テープ	音が小さい、音が途切れる。 音が良くない。 雑音が多く出る。 音がかずれたり、ふるえる。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	59
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	58
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の \oplus 、 \ominus が逆になっていますか。	\oplus 、 \ominus を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7

故障かな！？

こんなときは		ここをご確認ください	処置	参照ページ
C D	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のCDを使用していませんか。 寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	規格のCDと取り替える。 レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	58
	特定の個所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	58
MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。		排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	
M D	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありましたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	録音できない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	57
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかつたり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数（英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	40
MDを入れても“TOC Read”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で[▲MD、EJECT]を押しても、MDが出てこない。		MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① [POWER]を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ[▲MD、EJECT]を押す。MDが出てきます。 (出てこないときは、手順①②をくりかえす) ③ MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	

必要なとき

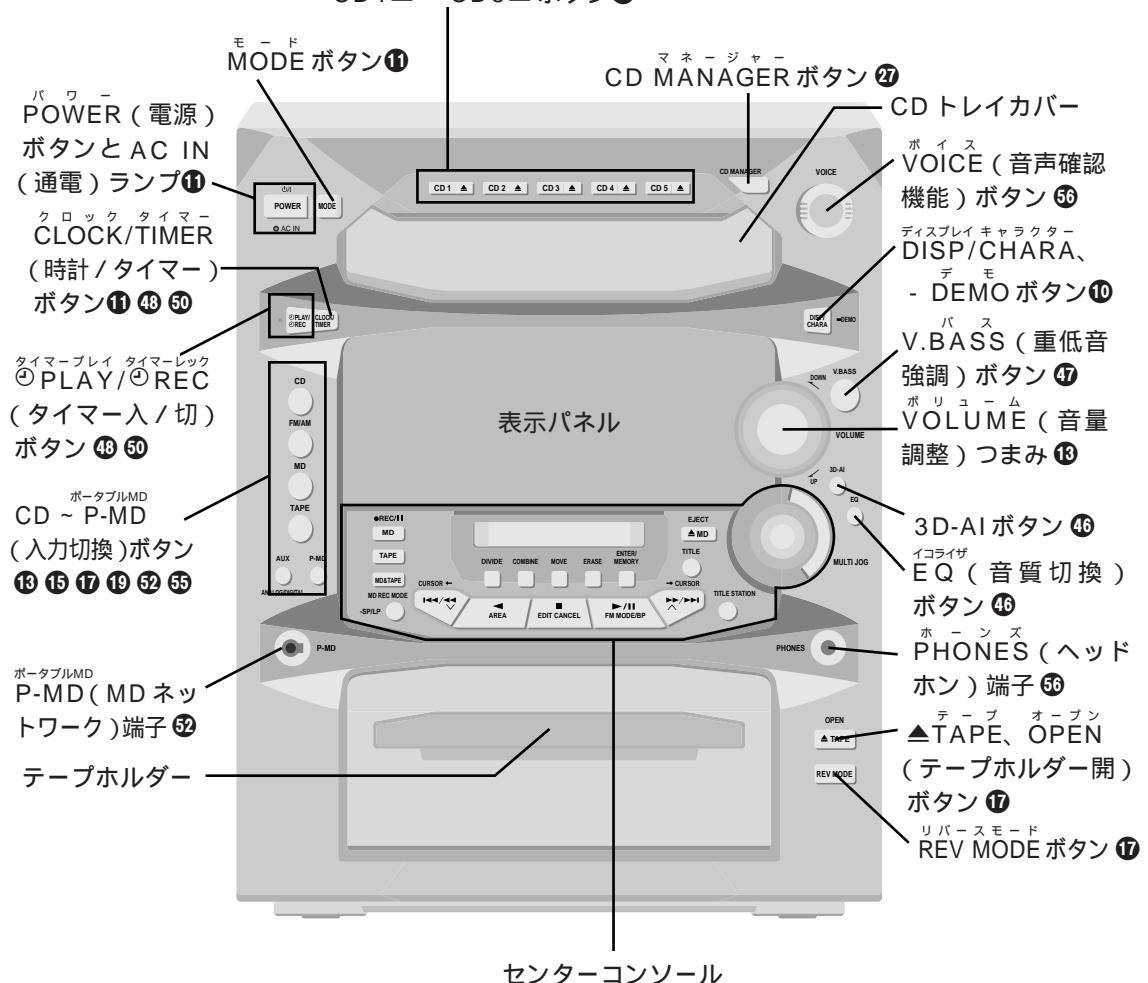
MDの制約について

症 状	原 因
曲数や録音時間が最大ではないのに“UTOC FULL”が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。（MD1枚の最大曲数254曲）
コンバイン／ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音／部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り／早戻しすると、音の途切れがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDの最大録音時間にならない。	MDは、2秒以下の音声を録音する場合でも、約2秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

本体

⑯などの数字は
参照ページです。

ダイレクト プレイ オープン (CD 演奏 / トレイ開)
CD1▲ ~ CD5▲ ボタン⑯



センターコンソール

レック REC/II、MD (MD 録音 / 一時停止) ボタン⑯

レック REC/II、TAPE (テープ録音 / 一時停止) ボタン⑯

レック REC/II、MD & TAPE (MD・テープ同時録音 / 一時停止) ボタン⑯

ディバイド、コンバイン DIVIDE、COMBINE、ムーブ MOVE、ERASE (MD 編集) ボタン⑯ ~ ⑯

MD 插入口

レック モード MD REC MODE
スタンダードロング - SP/LP (長時間録音 モード) ボタン⑯ ⑯

エンターメモリー ENTER/MEMORY (確定 / 記憶) ボタン⑯

タイトル TITLE ボタン⑯

▲MD、EJECT ボタン⑯

5 ボタンコン
トロール
(基本操作部)

タイトルステーション TITLE STATION ボタン⑯

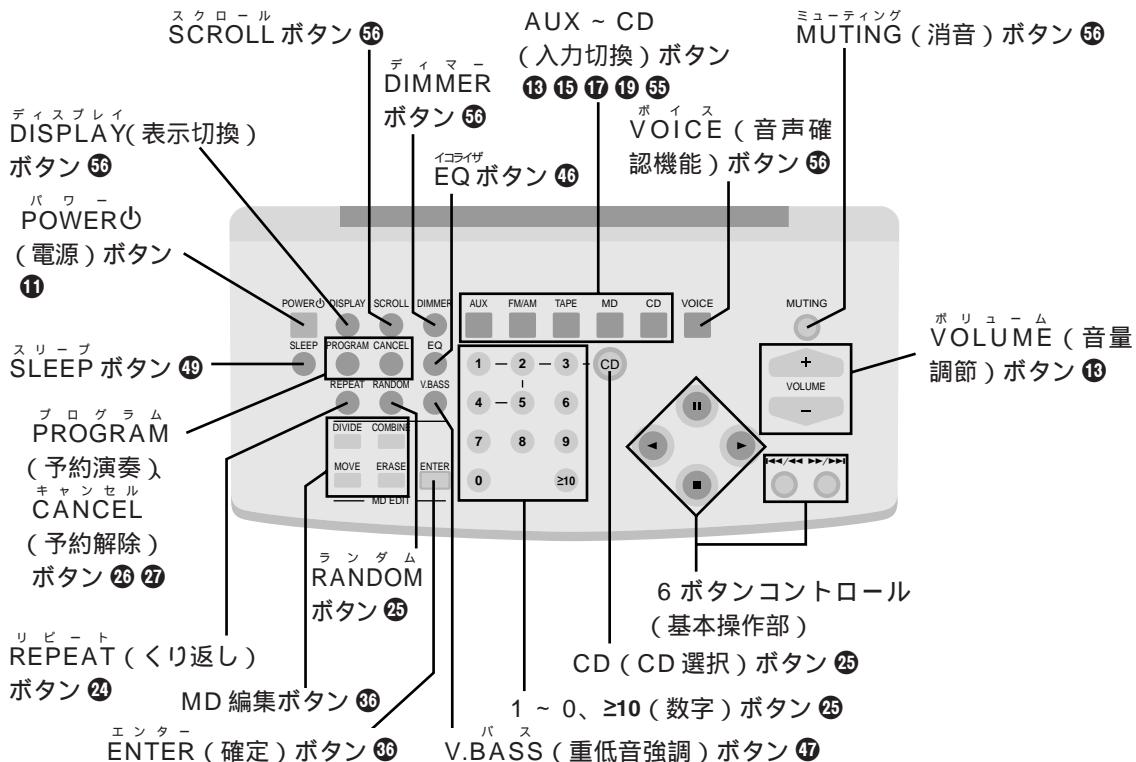
MULTI JOG

コントロール /

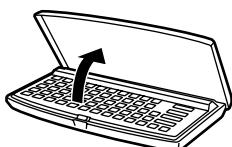
ジョイスティック⑯ ⑯

各部のなまえ

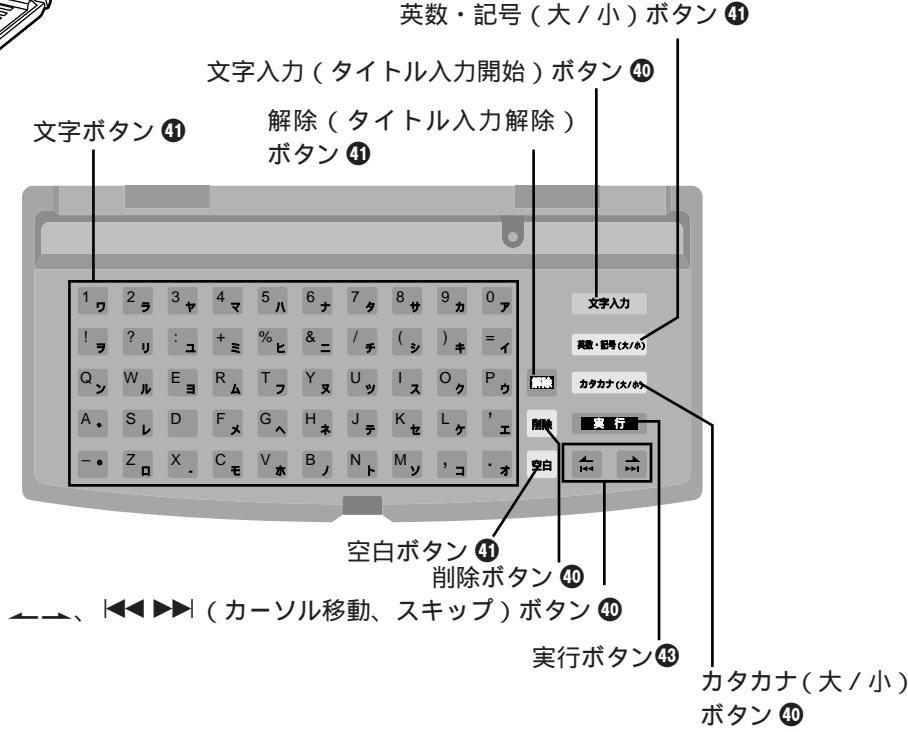
リモコン(上パネル)



リモコン(下パネル)



必要なとき



修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ!

その他のお問い合わせは、「お客様ご相談セン
ター」へ!

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確
かめ、お買い上げの販売店からお受け取りく
ださい。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

62~63ページの表に従ってご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせてい
ただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希
望により有料で修理させていただきます。

ただし、MDステレオシステムの補修用性能部
品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
(この期間は通商産業省の指導によるものです)
注) 性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで
構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部
品交換・調整・修理完了時の点検な
どの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助
材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣
する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター

バナは 365日

0120-878-365

フリーダイヤル(料金無料)

365日 / 受付9時~20時

International Customer Care Center ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export
models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)に
についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめ
ご了承ください。

0199

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

保証とアフターサービス

必要なとき
よくお読みください

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7	帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南 1丁目7-11
旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目 左1号	函館 ☎ (0138)48-6631 函館市西桔梗589番地 241(函館流通卸 センター内)

近畿地区

滋賀 ☎ (077)582-5021 守山市勝部町6丁目 2-1	奈良 ☎ (0743)59-2770 大和郡山市椎木町 404-2
京都 ☎ (075)672-9636 京都市南区 上鳥羽石橋町20-1	和歌山 ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
大阪 ☎ (06)6359-6225 大阪市北区本庄西 1丁目1-7	兵庫 ☎ (078)272-6645 神戸市中央区 琴/緒町3丁目2-6

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字ハッ役 字矢作1-37	宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂 字清水端59-2
秋田 ☎ (018)826-1600 秋田市御所野湯本 2丁目1-2	山形 ☎ (023)641-8100 山形市流通センター 3丁目12-2
岩手 ☎ (019)639-5120 盛岡市羽場13地割 30-3	福島 ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町 字南/内65

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1	浜田 ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町 327-93
米子 ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目 2-33	岡山 ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町 矢尾807
松江 ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目 10-19	広島 ☎ (082)295-5011 広島市西区南觀音 8丁目13-20
出雲 ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416	山口 ☎ (0839)86-4050 山口市銚銭司 字銚銭司団地北 447-23

首都圏地区

栃木 ☎ (028)632-8450 宇都宮市中央1丁目 8-13	船橋 ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目 11-7
群馬 ☎ (027)352-1217 高崎市萩原町沖中 205-18	柏 ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
水戸 ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2	東京 ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17
つくば ☎ (0298)64-8090 つくば市花畠2丁目 8-1	山梨 ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目 1-27
埼玉 ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2	神奈川 ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野 5丁目3-16
千葉 ☎ (043)208-6011 千葉市中央区 星久喜町172	新潟 ☎ (025)286-7725 新潟市東明1丁目 8-14

四国地区

香川 ☎ (087)868-9477 高松市勤使町152-2	高知 ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島 331-1
徳島 ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108	愛媛 ☎ (089)971-2144 松山市土居田町 750-2

中部地区

石川 ☎ (076)294-2683 石川県石川郡野々市町 稻荷3丁目80	名古屋 ☎ (052)819-0225 名古屋市瑞穂区 塩入町8-10
富山 ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298	岡崎 ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
福井 ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112	岐阜 ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30
長野 ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀 7600-7	高山 ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
静岡 ☎ (054)287-9000 静岡市西島765	三重 ☎ (059)255-1380 久居市森町字北谷 1920-3

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036 春日市春日公園 3丁目48	熊本 ☎ (096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
佐賀 ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町 大字本庄896-2	天草 ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
長崎 ☎ (095)830-1658 長崎市東町1949-1	鹿児島 ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎 1丁目5-33
大分 ☎ (097)556-3815 大分市萩原4丁目 8-35	大島 ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町 10-5
宮崎 ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2	

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

アンプ部

実用最大出力(両ch動作) : 30W + 30W (1kHz、全高調波ひずみ率10%、6Ω)

MD デッキ部

形式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 : 磁界変調オーバーライト方式
読取方式 : 半導体レーザー(λ = 780nm)による非接触光学式
サンプリング周波数 : 44.1kHz
圧縮 / 伸張方式 : ATRAC方式
チャンネル数 : 2チャンネル ステレオ
ワウ・フロッター : 測定限界以下

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.0 ~ 90.0MHz
TV1 ~ 3ch 音声

アンテナ端子 : 75 (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1629kHz

カセットデッキ部

トラック方式 : 4 トラック、2 チャンネル
ヘッド : パーマロイ × 1
録音 / 再生 : ダブルギャップフェライト × 1
消去 : DC サーボモーター
モーター : AC バイアス、100kHz
録音方式 : AC 消去
消去方式 : 秒速 4.8cm
テープ速度 : 約 120 秒 (C-60)
早巻時間

CD チェンジャー部

サンプリング周波数 : 44.1kHz
復号化 : 16 ビット 直線
光源 : 半導体レーザー
波長 : 780nm
チャンネル数 : 2 チャンネル (ステレオ)
ワウ・フロッター : 測定限界以下
デジタルフィルター : 8fs
DA コンバーター : MASH (1 ビット DAC)

本体総合

電源 : AC100V 50/60Hz
消費電力 : 75W
寸法(幅×高さ×奥行) : 270 × 331 × 308mm
質量 : 6.4kg

スピーカーシステム

型式 : 2 ウエイスピーカーシステム
使用スピーカー
ウーハー : 12cm コーンタイプ
ツイーター : 6cm リング・シェイプド・ドームタイプ
インピーダンス : 6
許容入力 : 60W (Music)
出力音圧レベル : 85dB/W (1.0m)
クロスオーバー周波数 : 4.0kHz
再生周波数帯域
- 16dB : 45Hz ~ 40kHz
- 10dB : 55Hz ~ 36kHz
寸法(幅×高さ×奥行) : 210 × 330 × 257mm
質量 : 3.0kg

電源オフ時の消費電力
- ECO モード ... 0.4W
- NORMAL モード ... 2.8W

注) 1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザによる第10次高調波までの総和です。

本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機を移動するときは

1 CD をすべて取り出す

2 [POWER] を押して
電源を切る

3 電源プラグを抜く

愛情点検

長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を!



こんな症状はありますか

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品 番	SC-NS77MD